

横浜国立大学大学院理工学府 博士課程前期 学生募集要項

2027年4月入学 一般選抜・特別選抜／社会人特別選抜

2026年10月入学 国費外国人留学生特別選抜

【出願手続について】

出願は、本学のWeb出願システムから行ってください。

I. 出願に必要な環境

出願を行うためには、インターネットを利用できるパソコン及び電子メールアドレスが必要です。

II. 出願手続の流れ

(1) マイページ登録

1. 本学のWeb出願システム (<https://e-apply.jp/e/ynu/>) にアクセスしてください。
2. 画面の指示に従って「理工学府・工学研究院」を選択してください。
3. メールアドレスや氏名等を登録し、マイページの登録を行ってください。
4. マイページの登録が済みましたら、登録完了メールが届きます。

(2) 出願

1. Web出願システムにログインし、志望先や出願者の情報入力、必要書類の登録を行ってください。

※必要書類の登録に際して、紙の証明書の写真データをPDF化したものでは不鮮明なため、複合機などでスキャンしたPDFをアップロードすること。

2. 出願後、Web出願システムから入学検定料を支払ってください。

※出願手続の詳細は、本要項及びWeb出願システムにて確認してください。

はじめに

本要項には、2026年10月または2027年4月に横浜国立大学大学院 理工学府博士課程前期へ入学を希望する人に必要な情報が書かれています。内容は多岐にわたっていますので、入学を希望する人は本冊子をよく読んで自分に必要とされる情報を正確に取得し、間違いのないように出願手続きを行ってください。

出願に際しては、あらかじめ志望指導教員あるいは表1（5頁参照）の問い合わせ担当教員とよく相談した上で願書を提出してください。

理工学府の概要や教員の研究内容などは、横浜国立大学大学院理工学府のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.fse.ynu.ac.jp/index.html>

【安全保障輸出管理について】

横浜国立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人横浜国立大学 安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から外国人留学生の受入れについては厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、願書の提出の前に志望指導教員と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。なお、国籍を問わず入学者全員は、入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書に署名していただきます。詳細については研究推進機構ウェブサイトを参照してください。

<https://www.ripo.ynu.ac.jp/researcher/start/security/>

【個人情報の取り扱いについて】

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

(1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、以下の目的のために利用します。

- ①合格者への連絡業務（奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付、生協資料の送付）及び入学手続業務
- ②入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除（留学生を除く）・授業料免除等の福利厚生関係の資料
- ③入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）
- ④本学における広報・諸調査・研究（入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・分析を含む）

⑤入学者の個人情報について本学関連団体である校友会及び同窓会の入会手続きに必要な範囲で提供する場合があります。

調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。
それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

(2) 上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

【学生寮について】

学生寮への入居希望者は、合格発表より前に申請手続きが必要となる場合があるため、各自において学務・国際戦略部学生支援課ウェブサイトの学生寮のページの入居募集案内を確認し、期間内に手続きを行ってください。

<https://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/>

【緊急時の入試実施に関するお知らせ】

公共交通機関の乱れや自然災害、人為災害、疫病等の影響により、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、試験日程や選抜方法を変更したうえで、入学者の選抜を行うことがあります。最新情報は、理工学府ウェブサイトを定期的に確認してください。

目 次

I 入試日程	・・・ 3頁
II-1 募集要項（一般選抜・特別選抜）	・・・ 5頁
II-2 募集要項（社会人特別選抜）	・・・ 20頁
II-3 募集要項（国費外国人留学生特別選抜）	・・・ 27頁
III 博士課程前期の概要	・・・ 37頁
IV 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による 教育の実施について（社会人技術者又は研究者に対する大学院教育の特例）	・・・ 41頁
V 長期履修学生について	・・・ 42頁
VI ChatGPT をはじめとする生成 AI の利用について	・・・ 44頁
VII アクセス案内	・・・ 45頁
（別表） 指導教員一覧	

用語に関する注意点：本要項では「博士課程の前期二年の課程」は「博士課程前期」、
「博士課程の後期三年の課程」は「博士課程後期」として表記しています。

I 入試日程

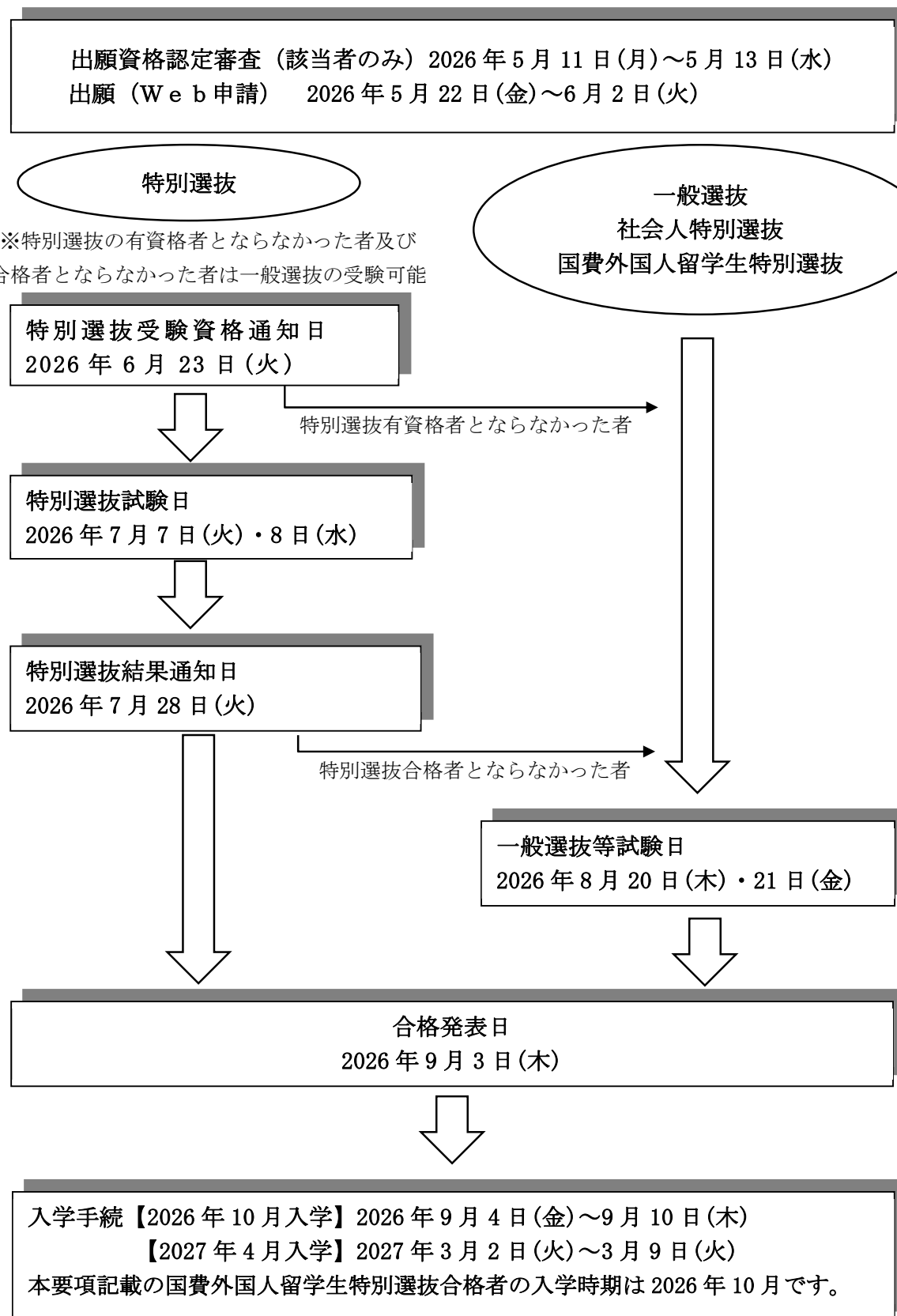


表1 問い合わせ担当教員

機械・材料・海洋系工学専攻		
	機械工学 ユニット 機械工学教育分野 航空宇宙工学教育分野 (前期のみ) エネルギー材料教育分野 (後期のみ) 集積プロセス工学教育分野 (前期のみ)	篠塚 淳 准教授 shinozuka-jun-yx@ynu.ac.jp
	材料科学フロンティア ユニット 材料工学教育分野 航空宇宙工学教育分野 (前期のみ) エネルギー材料教育分野 (後期のみ) 集積プロセス工学教育分野 (前期のみ)	中津川 博 准教授 nakatsugawa-hiroshi-dx@ynu.ac.jp
	海洋空間システムデザイン ユニット 海洋空間教育分野 航空宇宙工学教育分野 (前期のみ)	平川 嘉昭 准教授 hirakawa-yoshiaki-jd@ynu.ac.jp
化学・生命系理工学専攻		
	先端化学 ユニット 化学教育分野 応用化学教育分野 エネルギー化学教育分野 (前期のみ) エネルギー材料教育分野 (後期のみ)	菊地 あづさ 准教授 kikuchi-azusa-rh@ynu.ac.jp
	化学応用・バイオ ユニット 化学応用・バイオ教育分野 エネルギー化学教育分野 (前期のみ) エネルギー材料教育分野 (後期のみ)	高垣 敦 教授 takagaki-atsushi-gw@ynu.ac.jp
数物・電子情報系理工学専攻		
	数理科学 ユニット 数学教育分野	梶原 健 教授 kajiwara-takeshi-rj@ynu.ac.jp
	物理工学 ユニット 物理工学教育分野 半導体物理工学教育分野	赤松 大輔 教授 akamatsu-daisuke-wv@ynu.ac.jp
	電子情報システム ユニット 情報システム教育分野 電気電子ネットワーク教育分野 集積エレクトロニクス教育分野	大塚 和弘 教授 otsuka-kazuhiro-xb@ynu.ac.jp

※ ユニットは入試実施上の区分であり、入学者は上記の各教育分野に所属します。

※ 願書提出前に志望指導教員あるいは問い合わせ担当教員と相談してください。

II-1 募集要項 (一般選抜及び特別選抜)

1. 募集人員

【2027年4月入学】

機械・材料・海洋系工学専攻		
	機械工学 ユニット 機械工学教育分野 (TED または PED) 航空宇宙工学教育分野 (TED または PED) 集積プロセス工学教育分野 (TED または PED)	募集人員：109名
	材料科学フロンティア ユニット 材料工学教育分野 (TED または PED) 航空宇宙工学教育分野 (TED または PED) 集積プロセス工学教育分野 (TED または PED)	
	海洋空間システムデザイン ユニット 海洋空間教育分野 (TED または PED) 航空宇宙工学教育分野 (TED または PED)	
化学・生命系理工学専攻		
	先端化学 ユニット 化学教育分野 (PSD) 応用化学教育分野 (TED) エネルギー化学教育分野 (TED)	募集人員：107名
	化学応用・バイオ ユニット 化学応用・バイオ教育分野 (TED または PED) エネルギー化学教育分野 (TED)	
数物・電子情報系理工学専攻		
	数理科学 ユニット 数学教育分野 (理学)	募集人員：146名
	物理工学 ユニット 物理工学教育分野 (PSD) 半導体物理工学教育分野 (PSD)	
	電子情報システム ユニット 情報システム教育分野 (TED または PED) 電気電子ネットワーク教育分野 (TED または PED) 集積エレクトロニクス教育分野 (TED または PED)	

※ユニットは入試実施上の区分であり、入学者は上記の各教育分野に所属します

※ () 内は教育プログラムを表します。

2. 出願資格

一般選抜に出願できるのは次の基礎資格のいずれかに該当する者とする。

特別選抜に出願できるのは次の（１）～（７）のいずれかの基礎資格に該当し、下記の要件をすべて満たす者とする。

【基礎資格】

- （１）学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び本大学院入学の前までに卒業見込みの者
- （２）学校教育法第104条第7項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者及び本大学院入学の前までに授与される見込みの者
- （３）外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び本大学院入学の前までに修了見込みの者
- （４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び本大学院入学の前までに修了見込みの者
- （５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び本大学院入学の前までに修了見込みの者
- （５）の２ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- （６）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- （７）文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- （８）2027年4月入学希望者は2027年3月31日において学校教育法第83条に定める大学に3年以上（休学期間を除く）在学した者であって、本学府の定める単位を優秀な成績で修得したと認められた者
- （９）学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本学府において、本学府の教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- （10）個別の審査により、大学を卒業したと同等以上の学力があると本学府が認めた者で、本大学院入学の前までに22歳に達するもの

【要件】

- ①出身大学等より推薦されること
- ②出身大学の所属学科（これに相当するものを含む）における3年次終了時の成績順位が上位

1/3 以内であること。なお、やむを得ず成績順位を出していない大学等からの出願者は総修得単位に占める評価点 80 点以上の評価が 1/2 以上であること（なお、高等専門学校専攻科に在籍する者については、本科修了時の成績により判断する）

注意事項

- ① 上記以外の出願資格は認定しません。
- ② 出願資格（2）における本大学院入学の前までに学士の学位を取得見込みの者とは主に、学位規則第 6 条第 1 項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものと認定した短期大学および高等専門学校に置かれた専攻科修了見込みの者で、2027 年 4 月入学希望者は 2026 年 10 月までに大学改革支援・学位授与機構に学位の授与を申請した者です。
- ③ 出願資格（8）に該当する者（いわゆる「飛び入学」者）の要件は以下のとおりです。
 - 〈1〉 2026 年 3 月末の時点で、当該志願者の所属学科（これに相当するものを含む）における成績順位が上位 5% 以内かあるいは総修得単位の 3/4 以上が評価点 80 点以上の評価であること。
 - 〈2〉 原則として、2 年次修了までに必要な全ての必修科目に合格し、かつ、90 単位以上を修得していること。
- ④ 出願資格の（10）に該当するものとは、上記（1）～（9）に該当しない者で、本学府の個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等の学力があると認めた者で、本大学院入学の前までに 22 歳に達する者です。主に該当する者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など、大学卒業資格を有していない者、又は大学卒業までに 16 年を要しない国の大学を卒業した外国人留学生であって、大学教育修了後、日本国内又は外国の大学、大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員として 1 年以上研究に従事した者及び本大学院入学の前までに 1 年以上研究に従事する見込みの者です。
- ⑤ 出願資格（5）の 2、（8）～（10）により出願を希望する者は、出願資格認定審査を受ける必要があります。あらかじめ志望指導教員と相談のうえ、次の書類を任意の封筒に封入し、**2026 年 5 月 11 日（月）～5 月 13 日（水）**の間に理工学府係まで提出してください。申請書類は郵送または窓口で受け付けますが、いずれも期間内必着とします。
（窓口受付は 9 時から 17 時まで。ただし 12 時 45 分から 13 時 45 分を除く。）
なお、出願資格認定審査の申請に必要な本学所定の様式は、理工学府ウェブサイトよりダウンロードしてください。

【出願資格（8）によって出願を希望する者が提出する書類】

- ① 申請書類送付内訳書（別紙 1）
- ② 出願資格認定申請書（書式 9）
- ③ 出願資格証明及び推薦書（書式 14）※推薦者が厳封すること
- ④ 在籍大学の成績証明書
- ⑤ 履修基準を示す書類（卒業までに履修すべき区分別単位数及び総単位数、区分ごとに開講されている科目一覧等）
- ⑥ 410 円の切手（速達料を含む）を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒（長形 3 号）

【出願資格(5)の2、(9)、(10)によって出願を希望する者が提出する書類】

- ①申請書類送付内訳書(別紙1)
- ②出願資格認定申請書(書式12)
- ③出願資格認定用経歴調書(書式13)
- ④最終学歴の卒業(見込み)証明書又は在学期間(見込み)証明書
- ⑤最終学歴の成績証明書
- ⑥研究業績調書(書式16)
- ⑦研究(希望)計画書(書式17)
- ⑧410円の切手(速達料を含む)を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒(長形3号)

出願資格認定審査は、横浜国立大学大学院理工学府において行い、審査の結果は、**2026年5月26日(火)**に郵送します。出願資格を有すると認められた者は、所定の出願期間に手続きをしてください。その他、出願資格について不明な点は、理工学府係に問い合わせてください。

3. 出願手続

2026年5月22日(金)～6月2日(火)の間にWeb出願システムにて出願者の情報入力、必要書類の登録を行ってください。

Web出願システム URL : <https://e-apply.jp/e/ynu/>

注意事項

- ①Web出願システムの入力において、60分間通信がない場合は、エラーとなりますので、ご注意ください。
- ②Web出願システムにおける入力作業を一時中断する場合は、「一時保存」をクリックしてログアウトしてください。再ログイン後、入力を再開することができます。これ以外の方法で入力作業を中断した場合は、入力内容が取り消されます。
- ③Web出願システムの操作方法に関するお問い合わせは、以下へお願いします。
 「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター
 (運用会社：株式会社キャリアタス)
 TEL : 0120-202079 (受付時間：月～金 10:00～18:00)
 E-Mail : cvs-web@career-tasu.co.jp

4. 出願書類等

出願に必要な本学所定の様式は、理工学府ウェブサイトからダウンロードして作成してください。

出願書類等	注意事項	書式番号
出願書類内訳書	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用してください。	別紙2

入学願書	Web出願システムにて必要事項(志願者の氏名、連絡先、学歴、志望先(専攻、ユニット、教育分野、プログラム、指導教員)等)を入力してください。	1-1
写真データ	出願者本人の顔写真のデータを登録してください。 ファイル形式は jpeg、png、bitmap、gif に対応しています。 上半身・無帽・正面向き、提出前3か月以内に撮影した鮮明なカラー写真で2MBまでのデータを登録してください。 なお、アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。	
卒業(見込)証明書	出身大学(在籍大学)長又は学部長が作成したものを登録してください(出願資格(8)による出願者は在学証明書を登録してください)。 ・外国人留学生は、学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて登録してください。[ただし、出願資格(1)による出願者は除く。] ・日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を併せて登録してください。 ※原本は入学手続き時に提出してください。	
成績証明書	出身大学(在籍大学)長又は学部長が作成したものを登録してください。 日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を併せて登録してください。 ※原本は入学手続き時に提出してください。	
在留資格に関する証明 (外国人留学生のみ)	現在日本に居住している者は、在留カードの写し(両面)を登録してください。その他の者は、パスポートの写しを登録してください。	
外国人留学生履歴書 (外国人留学生のみ)	Web出願システムにて必要事項を入力してください。[ただし、出願資格(1)による出願者は除く。]	19-1
受入内諾書 (外国人留学生のみ)	理工学府ウェブサイトより様式をダウンロードして作成し、Web出願システムに登録してください。 志望指導教員の署名を得たうえで登録してください。志望指導教員の署名は原本でなくてもかまいません。	19-2
これまでの研究内容および研究計画書 (先端化学ユニット)	(先端化学ユニット志願者のみ提出) 理工学府ウェブサイトより様式をダウンロードして作成し、Web出願システムに登録してください。	21

<p>入学検定料</p>	<p>【払込金額】 30,000 円 【払込期間】 2026年6月2日(火) までにお支払いください。 【払込方法】 Web出願システムで出願した後に表示される支払手続画面に従い、支払手続を完了してください。支払方法の詳細は、Web出願システム「はじめに」の「お支払い方法」を参照してください。</p> <p>①日本国内在住の志願者 コンビニエンスストアから払い込むことができます(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマートに限りです)。 ※店内にある情報端末機を利用して払込を行ってください。 (ATMでは振込できません。必ずレジで払い込んでください。)</p> <p>②海外在住の志願者 クレジットカード(VISA・MasterCard・JCB・American Express・MUFU・DC・UFJ・NICOS)及び中国銀聯網決済により払い込むことができます。</p> <p>注意事項 ①入学検定料が払い込まれていない場合は、出願を受理しません。 ②各支払に係る手数料は、入学志願者本人の負担となります。</p> <p>※災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について 本学では、災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。 (https://www.ynu.ac.jp/exam/)</p>	
--------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

注意事項

①特別選抜の受験を希望する者は、上記書類に加えて次の書類を登録してください。

特別選抜受験希望に係る 出願書類	注意事項	書式 番号
	<p>理工学府ウェブサイトよりダウンロードして作成し、Web出願システムに登録してください。成績順位の記述または、総取得単位に占める評価点80点以上の評価の割合の証明が必要です。 ※原本は回収しますので試験当日に持参してください。</p>	15

志望理由書	<p>理工学府ウェブサイトより様式をダウンロードして作成し、Web出願システムに登録してください。</p> <p>教育分野（指導教員）を選んだ理由、現在までの学業との関係及び入学後の研究計画をA4判用紙1ページにまとめたもの。作成にあたり不明な点は、各ユニット問い合わせ先教員あるいは、志望指導教員に問い合わせてください。</p>	18
入学確約	<p>特別選抜試験に合格した際に、横浜国立大学理工学府に入学することをWeb出願システムにて確約してください。</p>	

②出願資格（8）～（10）による出願者は、出願資格認定審査の申請時に提出した書類の再提出を免除します。

5. 受験票

2026年6月17日(水)までに、出願を正式に受理した旨を電子メールでお知らせします。受験票はWeb出願システムにログインして印刷してください。印刷した受験票は試験当日に持参してください。受験票（表・裏）には何も記入してはいけません。

6. 選抜方法

選抜は「特別選抜」又は「一般選抜」のいずれかによって行います。手順については4頁の図を参照してください。

(1) 選抜試験方法の選択

学力検査のうち「特別選抜」と「一般選抜」のいずれか希望する方を選択してください。

(2) 受験資格決定

出願時に登録した「特別選抜」と「一般選抜」の選択に基づき、出願書類によって受験資格を決定します。特別選抜受験資格の通知は**2026年6月末まで**に電子メールでお知らせします。なお、特別選抜で有資格者とならなかった者は、別途手続きすることなく一般選抜を受験することができます。

(3) 特別選抜

出願時に提出する書類の審査によって受験資格を決定したのち、口述試験（英語、基礎科目、専門科目等に関する口述試験、あるいは、卒業研究ないしは大学院入学後に取り組みたい研究についてのプレゼンテーションとその内容についての口述試験）、外国語（英語）、出願書類及び面接による特別選抜により、能力及び入学後の研究に対する資質を確認し、合格者を決定します。なお、外国語（英語）の試験は、TOEIC、TOEFLのスコア（詳細は「9. TOEIC、TOEFLのスコアについて」のとおり）を用います。

口述試験の内容は、8（1）を参照してください。面接では、これまで取り組んできた研究内容や教育プログラムへの適性について口頭試問を行います。口述試験及び面接を1つでも欠

席した場合および、有効な TOEIC、TOEFL スコア証明書を提出しなかった場合は、合格者とはなりません。

特別選抜で合格者とならなかった者は、別途手続きすることなく一般選抜を受験することができます。

(4) 一般選抜

学力検査（外国語（英語）、学科試験Ⅰ、学科試験Ⅱ）、出願書類及び面接によって行います。外国語（英語）の試験は、TOEIC、TOEFL スコア（詳細は「9. TOEIC、TOEFL のスコアについて」のとおり）を用います。ただし、数理科学ユニットを志願する一般選抜受験者は、数理科学ユニットが実施する独自試験（英語）を受験することで英語スコアの提出に代えることができます。

学科試験の内容は、8（2）を参照してください。面接では、これまで取り組んできた研究内容や教育プログラムへの適性について口頭試問を行います。学科試験Ⅰ、学科試験Ⅱ及び面接を1つでも欠席した場合および、有効な TOEIC、TOEFL スコア証明書を提出しなかった場合は、合格者とはなりません。ただし、数理科学ユニットの独自試験（英語）受験を選択した者は英語スコア証明書の提出を免除します。また、数理科学ユニットの独自試験（英語）受験を選択した者が、独自試験を欠席した場合は、合格者とはなりません。

出願資格（8）による出願者のうち2027年4月入学希望者は、3年次までの成績証明書を基に最終的な合否を決定します。なお、各ユニットが必要と認めた場合には面接を行うことがあります。その場合の面接日と会場は、別途、各ユニットから通知します。3年次までの成績証明書は **2027年1月5日（火）** までに理工学府係に提出してください。

7. 試験・面接日程

(1) 特別選抜

期 日	科目名	配点	備考
—	外国語（英語）	100点	TOEIC、TOEFL のスコア証明書を 用います。
—	出願書類	400点	—
7月7日（火）	口述試験		試験日時・会場は電子メールで お知らせします。
7月7日（火）～ 7月8日（水）	面接	—	

注意事項

- ①口述試験および面接の実施日時と会場は、**2026年6月末まで**に電子メールでお知らせします。
- ②TOEIC、TOEFL のスコア証明書（詳細は「9. TOEIC、TOEFL のスコアについて」のとおり）を口述試験の試験時間中に回収します。
- ③試験の結果は、**2026年7月28日（火）**に郵送します。

(2) 一般選抜

期 日	科目名	配点	備考
-----	-----	----	----

—	外国語 (英語)	100点	TOEIC、TOEFL のスコア証明書を 用います。
8月20日 (木)	学科試験 I	200点 (化学応用・バイオユニットは 配点300点)	10時30分～12時30分
	学科試験 II	200点 (化学応用・バイオユニットは 配点100点)	13時30分～15時30分 (ただし先端化学ユニット、化学 応用・バイオユニットを除く)
8月20日 (木)～ 8月21日 (金)	面接	—	—
8月21日 (金)	外国語 (英語)	100点	10時30分～11時30分 (数理学ユニット志願者で独自の 筆記試験 (英語) の受験を選択し た者のみ)

注意事項

- ①試験日時・会場は、**2026年8月7日 (金)** までに Web 出願システムに掲載します。
- ②受験者は試験開始 20 分前に試験室に入室してください。
- ③TOEIC、TOEFL のスコア証明書 (詳細は「9. TOEIC、TOEFL のスコアについて」のとおり) を学科試験 I の試験時間中に回収します。数理学ユニット志願者で、独自試験 (英語) の受験を選択した者は、英語スコア証明書を提出する必要はありません。
- ④特別選抜で合格者とならなかった者のうち、一般選抜を受験する者が特別選抜受験時に TOEIC、TOEFL のスコア証明書を提出している場合は、特別選抜受験時に提出したスコア証明書を一般選抜受験に用いることができます (この場合、一般選抜受験時にスコア証明書を再度提出する必要はありません)。なお、一般選抜受験時にスコア証明書を改めて提出することもできます。
- ⑤学科試験に限り語学の辞書 (電子辞書は不可) を使用することができます。
- ⑥学力検査科目および面接において解答に日本語または英語のみを使用することができます。
- ⑦学科試験 I、II および面接は、横浜国立大学構内 (横浜市保土ヶ谷区常盤台) で行います。

8. 試験内容

(1) 特別選抜：口述試験

ユニット	口述試験
機械工学	卒業研究あるいは大学院入学後に取り組みたい研究についてパソコンを用いて 10 分程度プレゼンテーションを行い、その内容についての口述試験を行う。(※)
材料科学フロンティア	卒業研究あるいは大学院入学後に取り組みたい研究についてパソコンを用いて 10 分程度のプレゼンテーションを行ってもらい、その内容についての口述試験を行う。(※)
海洋空間システムデザイン	流体力学、材料力学、及び、剛体の力学に関する口頭試問を行う。
先端化学	卒業研究あるいは大学院入学後に取り組みたい研究についてパソコンを用いて 7 分程度のプレゼンテーションを行ってもらい、その内容および化学に関連する基礎知識についての口述試験を行う。(※)

化学応用・バイオ	化学応用・バイオ、エネルギー化学分野に関する内容の説明・討論能力に関する口述試験を行う。また、これまで取り組んできた研究や取り組みの内容について口述試験を行う。
数理科学	基礎科目、専門科目等に関する口述試験、および、卒業研究ないしは大学院入学後に取り組みたい研究についての7分程度のプレゼンテーションとその内容についての口述試験を行う。(※)
物理工学	物理工学に関連する基礎科目、および、専門科目に関する口述試験を行う。
電子情報システム	電子情報システム分野の基礎科目、専門科目に関する口述試験、あるいは卒業研究ないしは大学院入学後に取り組みたい研究についてパソコンを用いてプレゼンテーションを行い、その内容について口述試験を行う。(※)

※口述試験でプレゼンテーションを課すユニットにおいては、試験当日に発表用資料ファイル(PDF)を入れたUSBメモリーおよび、そのファイル内容をA4用紙に印刷したものを持参すること。なお、プロジェクターとパソコンは試験会場で準備をするが、持参のパソコンがある場合はそれを使用しても良い。なお、試験会場のパソコンを用いる場合は、PDFファイルのみが使用可であることに注意すること。

(2) 一般選抜：学科試験科目

ユニット	学科試験Ⅰ (配点 200 点) (化学応用・バイオユニットは配点 300 点)	学科試験Ⅱ (配点 200 点) (化学応用・バイオユニットは配点 100 点)
機械工学	①数学 (50 点) ②熱力学 (50 点) ③材料力学 (50 点) 計 150 点を 200 点に換算	①機械力学 (50 点) ②流体力学 (50 点) ③制御工学 (50 点) 計 150 点を 200 点に換算
材料科学 フロンティア	①解析学 (微分、積分、微分方程式) ②線形代数学 (行列とその応用、連立一次方程式) ③力学 ④物理化学 (熱力学) ⑤統計物理学 合計 5 題 (各 40 点)	①材料力学 ②固体電子論 ③結晶塑性学 ④金属組織学Ⅰ (結晶、状態図、及びそれらの関連分野) ⑤金属組織学Ⅱ (拡散、回復・再結晶、相変態、及びそれらの関連分野) 合計 5 題 (各 40 点)
海洋空間 システム デザイン	①解析学 (微分・積分、微分方程式) (50 点) ②線形代数 (50 点) ③剛体の力学 (50 点) 計 150 点を 200 点に換算	①流体力学 (50 点) ②材料力学 (50 点) ③振動工学 (50 点) ④船舶海洋工学 (浮体静力学、復原性) (50 点) ⑤航空宇宙工学 (飛行体・航行体の質点の力学) (50 点) 合計 5 題中 3 題解答、計 150 点を 200 点に換算
先端化学	①数学 (解析学、線形代数学、微分方程式) ②基礎無機化学 ③基礎分析化学 ④基礎物理化学 ⑤基礎有機化学 合計 5 題 (各 40 点)	化学全般の基礎知識、これまでの研究内容ならびに希望する研究分野について入学後の研究計画に関わる専門知識について口述試験を行う。(様式 21) (200 点)

化学応用 ・バイオ	①数学(解析学、線形代数学、微分方程式の範囲) ②基礎化学 I (基礎無機化学、基礎分析化学の範囲) ③基礎化学 II (基礎物理化学、基礎有機化学の範囲) ④化学工学基礎(移動速度論、物質・エネルギー収支、相平衡の範囲) 合計 4 題(各75点)	これまでの研究内容や希望する研究分野に関する基礎知識・専門知識について口述試験を行う。 (100点)
数理科学	①線形代数学(50点) ②微分積分学(50点) ③集合(50点) ④位相(50点)	①代数(50点) ②幾何(50点) ③解析(50点) ④確率・統計(50点)
物理工学	物理 I (物理数学、力学、電磁気学から出題する)(200点)	物理 II (量子力学、熱・統計力学から出題する)(200点)
電子情報 システム	①線形代数学(100点) ②微分積分学(100点)	①電磁気学(50点) ②回路理論(50点) ③論理回路(50点) ④アルゴリズム(50点)

(3) 一般選抜：学科試験受験にあたっての指示事項

ユニット	指示事項
先端化学	プログラム機能をもたない関数電卓の持ち込み可
化学応用・バイオ	プログラム機能をもたない関数電卓の持ち込み可

(4) 数理科学ユニットの独自試験（英語）について

数理科学ユニットを志願する一般選抜受験者は、数理科学ユニットが実施する独自試験（英語）を受験することでTOEIC、TOEFL のスコア証明書の提出を免除します。独自試験（英語）の受験を希望する者は学科試験 I の試験時間中に、TOEIC、TOEFL のスコア証明書を提出せずに受験を希望する旨を申し出てください。ただし特別選抜受験時に TOEIC、TOEFL のスコア証明書を提出した者は独自試験（英語）を受験できません。

独自試験（英語）は、数学分野に関する英文の読解および作文の能力に関する筆記試験を行います。

なお、数理科学ユニット志願者が TOEIC、TOEFL のスコア証明書を提出することなく独自試験（英語）を欠席した場合は、合格者とはなりません。

9. TOEIC、TOEFL のスコアについて

対象となる試験および提出するスコア証明書は以下のとおりです。

対象となる試験	提出するスコア証明書	公式サイト
TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト)	【試験当日に提出】 Official Score Certificate (公式認定証)	TOEIC https://www.iibc-global.org/toEIC.html

TOEFL-iBT (Home Edition を含む)	【大学に直送】 Official Score Report かつ 【試験当日に提出】 Test Taker Score Report	TOEFL https://www.toefl-ibt.jp/
------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------

※1 TOEIC-IP 及び TOEFL-ITP などの団体受験制度、TOEIC Bridge, TOEIC Speaking & Writing Test、TOEFL-PBT は認められません。

※2 日本国内で受験した場合に限り、TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト) については、QR コード付きデジタル公式認定証も可とします。その場合はデジタル公式認定証をプリントアウトしたものを提出してください。なお、デジタル公式認定証に表示される QR コードを用いてその真正性を確認します。

※3 TOEFL スコア証明書 (Official Score Report) は、ETS を通じて大学に直送する必要があります。横浜国立大学の機関コードは「0410」です。

スコアの確実な確認を行うため、試験当日にスコア証明書 (Test Taker Score Report) を提出してください。なお、スコアの受領に関する問い合わせには応じません。

○TOEIC、TOEFL いずれかのスコア証明書 (コピーやダウンロードした PDF は上記※2 及び※3 の場合を除いて不可、原本のみ。以下同じ) を、試験当日に提出してください。スコア証明書は、特別選抜では口述試験の試験時間中、また一般選抜では学科試験 I の試験時間中に回収します。ただし、一般選抜において学科試験 I の試験時間中にスコア証明書を提出しなかった数理科学ユニット志願者は、数理科学ユニットが実施する独自試験 (英語) の受験を選択したものとし、スコア証明書の提出を免除します。

○有効なスコア証明書は、TOEIC、TOEFL の受験日が提出日から起算して **2年以内**で顔写真付きのものです。無効となるスコア証明書を提出した場合や、試験当日にスコア証明書の提出がない場合は、スコア証明書の提出を免除された者を除き、**合格者とはなりません**。

○TOEFL のスコアについて、Test Taker Score Report に記載される My Best Scores は利用しません。

○TOEIC、TOEFL のスコアについては、以下の得点換算表を用いて 100 点満点に換算し、外国語 (英語) の得点とします。

【TOEIC Listening & Reading Test】

TOEIC	換算方法	外国語 (英語)
801 点以上	-	100 点
800 点 ~ 500 点	$(\text{TOEIC} - 500) / 6 + 50$	100 点 ~ 50 点
500 点 ~ 350 点	$(\text{TOEIC} - 350) / 3$	50 点 ~ 0 点
349 点以下	-	0 点

【TOEFL-iBT】

TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)
120~90	100	76	84	63~62	66	51	47	41	18
89	99	75~74	82	61	64	50~49	43	40	15
88	98	73~72	80	60~59	63	48	40	39	12
87~86	96	71	78	58	61	47	38	38	7
85~84	95	70~69	75	57	59	46	34	37~36	2
83	92	68	74	56	56	45	31	35~0	0

82～81	90	67～66	73	55～54	55	44	28		
80～79	88	65	71	53	53	43	24		
78～77	87	64	68	52	51	42	21		

○小数点以下の得点は四捨五入します。

○提出されたスコア証明書は、志願者へ返却しません。

10. 合格者発表

2026年9月3日(木) 16時頃

合格者には「合格通知書」を郵送します。また、横浜国立大学大学院理工学府のウェブサイト (<https://www.fse.ynu.ac.jp/index.html>) に合格者受験番号を掲載します。

注意事項

- ①「合格通知書」をもって、正式な通知とします。
- ②電話等による可否結果の問い合わせには一切応じません。
- ③募集人員に欠員が生じた場合は、追加合格により欠員補充を行う場合があります。追加合格該当者に対し、郵便にて通知します。追加合格に関する問い合わせには一切応じません。
- ④出願資格(8)に基づく出願者のうち2027年4月入学希望者の第1次合格者発表も上記と併せて行います。なお、最終的に合格した者には、**2027年2月**に合格通知書を郵送します。

11. 入学手続

(1) 入学手続期間：**【2027年4月入学】2027年3月2日(火)～3月9日(火)**

(2) 入学金：282,000円

入学手続については合格通知書を郵送する際に別途案内します。上記の入学手続期間に手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

なお、入学金及び授業料(年額535,800円)は改定される場合があります。在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新しい授業料が適用されます。

12. 受験及び修学の上で配慮を必要とする入学志願者の配慮申請について

心身の障がい等のある者が、受験及び修学の上で配慮が必要となる場合は、出願前までに必ず申請書を作成し申し出てください。

また、出願後の不慮の事故などにより、受験及び修学の上で配慮が必要となった場合も、その時点で速やかに申し出てください。

【申請方法】

- (1) 申請は、下記の様式例を参考に申請書を作成し、診断書(原本または写し)または身体障害者手帳(写し)、その他参考資料を添えて申請してください。
- (2) 申請内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。
- (3) 申請・連絡先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5

横浜国立大学理工学系事務部教務課 理工学府係
 電話番号 045-339-3817

【様式例 (A4 用紙)】

年 月 日

横浜国立大学長 殿

フリガナ
 氏 名
 生年月日
 住 所 〒
 電話番号
 Email

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり配慮の申請をします。

記

1. 志望する学府・専攻・ユニット・教育分野
2. 障がい等の種類、程度
3. 受験に際して配慮を希望する事項・内容
4. 入学後の修学に際して配慮を希望する事項・内容
5. 出身大学在学中にとられていた配慮事項・内容
6. そ の 他

(添付書類) 診断書 (原本または写し) または身体障害者手帳 (写し)、その他参考資料

13. 注意事項

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (3) 出願書類等は返却しません。
- (4) 払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。返還請求の方法は、理工学府係へお問い合わせください。
 - ア. 入学検定料を払い込んだが本学府に出願しなかった (出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった。) 場合
 - イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 ※返還額は、返還の際に要する手数料が差し引かれた額となります。
- (5) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (6) 出願の際に登録する氏名はなるべく常用漢字を使用してください。常用漢字以外を使用した場合、コンピュータで表記できないことがあります。その場合、合格通知書および入学許可書には出願時に登録した氏名と異なる漢字に置き換えることがあります。
- (7) 志望する教育分野、教育プログラム、指導教員については、入試の成績によっては志望のとおりとならない場合があります。第2志望以下についても考慮しておいてください。
- (8) 提出した卒業証明書や成績証明書について第三者による認証証明が必要だと本学が判断した場合には、志願者の費用負担で本学が指定する認証機関において認証に係る審査を受けていただく場合があります。
- (9) 出願資格 (8) により本学府に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は退学となります。従って、各種国家試験等の資格試験の受験資格で、大学の学部を卒業していることを要件とするものについては、受験資格を欠くことになりますので注意してください。ただし、大学院入学後、大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査及び試験に合格した者は、学士の学位を取得することができます。
- (10) 在留資格「留学」を取得するに当たっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。

- (11) 本試験に関する変更等が生じた場合は、理工学府のウェブサイトでお知らせすると共に出願者に通知します。
- (12) 試験当日は、必ず受験票を携帯してください。
- (13) 各選抜方法で課された学科試験Ⅰ・Ⅱ、口述試験及び面接を1つでも欠席した場合、数理学ユニットの一般選抜志願者で独自試験(英語)受験を選択しこれを欠席した場合、および有効なTOEIC、TOEFLスコア証明書を提出しなかった場合は、合格者とはなりません。ただし、数理学ユニットが実施する独自試験(英語)の受験を選択した者はスコア証明書の提出を免除します。
- (14) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切ってカバン等の中にしまってください。
- (15) 以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、直ちに受験を中止させ、退場の措置をとり、以後の受験を認めません。また、すでに受験した教科の成績は無効とします。
 - ①カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。
 - ②試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。
 - ③試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ④試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具を使用すること。※使用を許可されたものを除く。
- (16) 以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(15)と同じです。
 - ①試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具をカバンの中にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。※使用を許可されたものを除く
 - ②試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ③試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。
 - ④その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。
- (17) 官公庁又は会社等に在職している者は、入学手続の際、その長又は代表者の就学承認書(様式は任意)を必要としますので、あらかじめ用意してください。
- (18) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしません。
- (19) 入学後の経済支援制度として、「入学料免除(留学生を除く)・授業料免除等制度」・「奨学金制度」等があり、多くの学生が活用しています。

II-2 募集要項 (社会人特別選抜)

1. 趣旨

本学大学院においては、社会人技術者の継続研修及び再教育の場を提供するとともに、それを橋渡しとして、大学と産業界との交流を深め、新しい学問と技術の発展に寄与することを目的として、その門戸を社会に向けて開放しています。その一環として、社会人の勉学を容易にするために、社会人技術者を対象として大学院設置基準第14条に定める特例による教育を実施するとともに、ここに掲げる特別選抜制度を実施して社会人技術者の入学の便を図っています。

2. 募集人員

【2027年4月入学】

機械・材料・海洋系工学専攻		
機械工学 ユニット 機械工学教育分野 (TED または PED) 航空宇宙工学教育分野 (TED または PED) 集積プロセス工学教育分野 (TED または PED)	募集人員：若干名	
材料科学フロンティア ユニット 材料工学教育分野 (TED または PED) 航空宇宙工学教育分野 (TED または PED) 集積プロセス工学教育分野 (TED または PED)		
海洋空間システムデザイン ユニット 海洋空間教育分野 (TED または PED) 航空宇宙工学教育分野 (TED または PED)		
化学・生命系理工学専攻		
先端化学 ユニット 化学教育分野 (PSD) 応用化学教育分野 (TED) エネルギー化学教育分野 (TED)	募集人員：若干名	
化学応用・バイオ ユニット 化学応用・バイオ教育分野 (TED または PED) エネルギー化学教育分野 (TED)		
数物・電子情報系理工学専攻		
数理科学 ユニット 数学教育分野 (理学)	募集人員：若干名	
物理工学 ユニット 物理工学教育分野 (PSD) 半導体物理工学教育分野 (PSD)		
電子情報システム ユニット 情報システム教育分野 (TED または PED) 電気電子ネットワーク教育分野 (TED または PED) 集積エレクトロニクス教育分野 (TED または PED)		

※ユニットは入試実施上の区分であり、入学者は上記の各教育分野に所属します

※ () 内は教育プログラムを表します。

3. 出願資格

社会人技術者又は研究者等であって、(a) 本大学院入学後も出願時点と同一企業等での身分を有する予定であり勤務成績が優秀であると所属長等に認められ推薦を受けた者、又は (b) 本大学院入学前までに同一企業等に原則として1年以上正規職員として勤務した経験がある者で、次の3つの要件を満たすもの。

【要件】

- (1) 学士の学位を有すること
- (2) 学部教育として、志望の専攻と関連系統の専門教育を受けていること
- (3) 企業等において、志望専攻の専門に関する経験を原則として1年以上有すること

注意事項

- ① 上記以外の出願資格は認定しません。
- ② 社会人特別選抜に出願を希望する者は、出願資格認定審査を受ける必要があります。あらかじめ志望指導教員と相談のうえ、次の書類を任意の封筒に封入し、**2026年5月11日(月)～5月13日(水)**の間に理工学府係まで提出してください。申請書類の受付は郵送または窓口で受け付けますが、いずれも期間内必着とします。

(窓口受付は9時から17時まで。ただし12時45分から13時45分を除く。)

なお、出願資格認定審査の申請に必要な本学所定の様式は、理工学府ウェブサイトよりダウンロードしてください。

- ① 申請書類送付内訳書 (別紙 1)
- ② 出願資格認定申請書 (書式 11)
- ③ 出願資格認定用経歴調書 (書式 13)
- ④ 最終学歴の卒業証明書
- ⑤ 出願資格に応じ、下記のいずれか (様式は任意)
 - (a) . 出願時に職務を有する者** : 受験許可書及び人物推薦書 (勤務先の所属長等が作成したものを提出してください)
 - (b) . 職務経験者** : 研究又は業務に従事した証明書
- ⑥ 研究業績調書 (書式 16)
- ⑦ 研究 (希望) 計画書 (書式 17)
- ⑧ 410 円の切手 (速達料を含む) を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒 (長形 3 号)

出願資格認定審査は、横浜国立大学大学院理工学府において行い、審査の結果は、**2026年5月26日(火)**に郵送します。出願資格を有すると認められた者は、所定の出願期間に手続きをしてください。その他、出願資格について不明な点は、理工学府係に問い合わせてください。

4. 出願手続

2026年5月22日(金)～6月2日(火)の間にWeb出願システムにて出願者の情報入力、必要書類の登録を行ってください。

Web出願システム URL : <https://e-apply.jp/e/ynu/>

注意事項

- ①Web出願システムの入力において、60分間通信がない場合は、エラーとなりますので、ご注意ください。
- ②Web出願システムにおける入力作業を一時中断する場合は、「一時保存」をクリックしてログアウトしてください。再ログイン後、入力を再開することができます。これ以外の方法で入力作業を中断した場合は、入力内容が取り消されます。
- ③Web出願システムの操作方法に関するお問い合わせは、以下へお願いします。
「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター（運用会社：株式会社キャリアタス）
TEL：0120-202079（受付時間：月～金 10:00～18:00）
E-Mail：cvs-web@career-tasu.co.jp

5. 出願書類等

出願に必要な本学所定の様式は、理工学府ウェブサイトからダウンロードして作成してください。

出願書類等	注意事項	書式番号
出願書類内訳書	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用してください。	別紙2
入学願書	Web出願システムにて必要事項（志願者の氏名、連絡先、学歴、志望先（専攻、ユニット、教育分野、プログラム、指導教員）等）を入力してください。	1-1
写真データ	出願者本人の顔写真データを登録してください。 ファイル形式はjpeg、png、bitmap、gifに対応しています。 上半身・無帽・正面向き、提出前3か月以内に撮影した鮮明なカラー写真で2MBまでのデータを登録してください。 なお、アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。	
卒業証明書	出身大学（在籍大学）長又は学部長が作成したものを登録してください。 ・外国人留学生は、学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて登録してください。〔ただし、出願資格（1）による出願者は除く。〕 ・日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を併せて登録してください。	
成績証明書	出身大学（在籍大学）長又は学部長が作成したものを登録してください。日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を併せて登録してください。	
在留資格に関する証明 （外国人留学生のみ）	現在日本に居住している者は、在留カードの写し（両面）を登録してください。その他の者は、パスポートの写しを登録してください。	

外国人留学生履歴書 (外国人留学生のみ)	Web出願システムにて必要事項を入力してください。〔ただし、出願資格(1)による出願者は除く。〕	19-1
受入内諾書 (外国人留学生のみ)	理工学府ウェブサイトより様式をダウンロードして作成し、Web出願システムに登録してください志望指導教員の署名を得たうえで登録してください。志望指導教員の署名は原本でなくてもかまいません。	19-2
入学検定料	<p>【払込金額】30,000円 【払込期間】2026年6月2日(火)までにお支払いください。 【払込方法】 Web出願システムで出願した後に表示される支払手続画面に従い、支払手続を完了してください。支払方法の詳細は、Web出願システム「はじめに」の「お支払い方法」を参照してください。</p> <p>①日本国内在住の志願者 コンビニエンスストアから払い込むことができます(セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマートに限りません)。 ※店内にある情報端末機を利用して払込を行ってください。 (ATMでは振込できません。必ずレジで払い込んでください。)</p> <p>②海外在住の志願者 クレジットカード(VISA・MasterCard・JCB・American Express・MUFG・DC・UFJ・NICOS)及び中国銀聯ネット決済により払い込むことができます。</p> <p>注意事項 ①入学検定料が払い込まれていない場合は、出願を受理しません。 ②各支払に係る手数料は、入学志願者本人の負担となります。</p> <p>※災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について 本学では、災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、入学検定料免除の特別措置を行います。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。 (https://www.ynu.ac.jp/exam/index.html)</p>	

注意事項

出願資格認定審査の申請時に提出した書類の再提出を免除します。

6. 受験票

2026年6月17日(水)までに、出願を正式に受理した旨を電子メールでお知らせします。受験票はWeb出願システムにログインして印刷してください。印刷した受験票は試験当日に持参してください。受験票(表・裏)には何も記入してはいけません。

7. 選抜の方法および試験内容

面接試験（専攻科目、研究内容、研究業績、研究計画および、教育プログラムへの適性等に関する口述試験）によって能力及び入学後の研究に対する意欲を確認し、合格者を決定します。面接試験を欠席した場合は、合格者とはなりません。なお、受験にあたっての指示事項については、志望指導教員に確認してください。

8. 試験日程及び会場

(1) 日程

期 日	科 目 名	時 間
8月20日(木)～8月21日(金)	面接試験	試験会場掲載時に指示します (下記参照)。

(2) 場所

面接試験は横浜国立大学構内（横浜市保土ケ谷区常盤台）もしくはオンラインで行います。面接試験の試験会場等は、**2025年8月7日(金)まで**にWeb出願システムに掲載します。

9. 合格者発表

2026年9月3日(木) 16時頃

合格者には「合格通知書」を郵送します。また、横浜国立大学大学院理工学府のウェブサイト
に合格者受験番号を掲載します。

(ウェブサイトアドレス <https://www.fse.ynu.ac.jp/index.html>)

注意事項

- ①「合格通知書」をもって、正式な通知とします。
- ②電話等による可否結果の問い合わせには一切応じません。
- ③募集人員に欠員が生じた場合は、追加合格により欠員補充を行う場合があります。追加合格者に対し郵便にて通知します。追加合格に関する問い合わせには一切応じません。

10. 入学手続

(1) 入学手続期間：**【2027年4月入学】2027年3月2日(火)～3月9日(火)**

(2) 入学金：282,000円

入学手続については合格通知書を郵送する際に別途案内します。上記の入学手続期間に手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

なお、入学金及び授業料（年額535,800円）は改定される場合があります。在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新しい授業料が適用されます。

11. 受験及び修学の上で配慮を必要とする入学志願者の配慮申請について

心身の障がい等のある者が、受験及び修学の上で配慮が必要となる場合は、出願前までに必ず申請書を作成し申し出てください。また、出願後の不慮の事故などにより、受験及び修学の上で配慮が必要となった場合も、その時点で速やかに申し出てください。

【申請方法】

- (1) 申請は、下記の例を参考に申請書を作成し、診断書（原本または写し）または身体障害者手帳（写し）、その他参考資料を添えて申請してください。
- (2) 申請内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。
- (3) 申請・連絡先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5
 横浜国立大学理工学系事務部教務課理工学府係
 電話番号 045-339-3817

【申請書〈例〉様式 (A4用紙)】

	年 月 日
横浜国立大学長 殿	フリガナ 氏 名 生年月日 住 所 〒 電話番号 Email
横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり配慮の申請をします。	
記	
<ul style="list-style-type: none"> 1. 志望する学府・専攻・ユニット・教育分野 2. 障がい等の種類、程度 3. 受験に際して配慮を希望する事項・内容 4. 入学後の修学に際して配慮を希望する事項・内容 5. 出身大学在学中にとられていた配慮事項・内容 6. そ の 他 	
(添付書類) 診断書（原本または写し）または身体障害者手帳（写し）、その他参考資料	

1 2 . 注 意 事 項

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 出願手続後の提出書類の変更は認めません。
- (3) 出願書類等は返却しません。
- (4) 払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。返還請求の方法は、理工学府係へお問い合わせください。
 - ア. 入学検定料を払い込んだが本学府に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった。）場合
 - イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 ※返還額は、返還の際に要する手数料が差し引かれた額となります。
- (5) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (6) 出願の際に登録する氏名はなるべく常用漢字を使用してください。常用漢字以外を使用した場合、コンピュータで表記できないことがあります。その場合、合格通知書および入学許可書には出願時に登録した氏名と異なる漢字に置き換えることがあります。

II-2 (社会人特別選抜)

- (7) 志望する教育分野、教育プログラム、指導教員については、入試の成績によっては志望のとおりとならない場合があります。第2志望以下についても考慮しておいてください。
- (8) 提出した卒業証明書や成績証明書について第三者による認証証明が必要だと本学が判断した場合には、志願者の費用負担で本学が指定する認証機関において認証に係る審査を受けていただく場合があります。
- (9) 本試験に関する変更等が生じた場合は、理工学府のウェブサイトでお知らせすると共に出願者に通知します。
- (10) 試験当日は、必ず受験票を携帯してください。
- (11) 面接試験を欠席した場合は、合格者とはなりません。
- (12) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切ってカバン等の中にしまってください
- (13) 官公庁又は会社等に在職している者は、入学手続の際、その長又は代表者の就学承認書(様式は任意)を必要としますので、あらかじめ用意してください。
- (14) 入学続き後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしません。
- (15) 入学後の経済支援制度として、「入学料免除(留学生を除く)・授業料免除等制度」・「奨学金制度」等があり、多くの学生が活用しています。

II-3 募集要項 (国費外国人留学生特別選抜)

1. 募集人員

【2026年10月入学】(国費外国人留学生)

機械・材料・海洋系工学専攻		
	機械工学 ユニット 機械工学教育分野 (TED または PED) 航空宇宙工学教育分野 (TED または PED) 集積プロセス工学教育分野 (TED または PED)	募集人員：若干名
	材料科学フロンティア ユニット 材料工学教育分野 (TED または PED) 航空宇宙工学教育分野 (TED または PED) 集積プロセス工学教育分野 (TED または PED)	
	海洋空間システムデザイン ユニット 海洋空間教育分野 (TED または PED) 航空宇宙工学教育分野 (TED または PED)	
化学・生命系理工学専攻		
	先端化学 ユニット 化学教育分野 (PSD) 応用化学教育分野 (TED) エネルギー化学教育分野 (TED)	募集人員：若干名
	化学応用・バイオ ユニット 化学応用・バイオ教育分野 (TED または PED) エネルギー化学教育分野 (TED)	
数物・電子情報系理工学専攻		
	数理科学 ユニット 数学教育分野 (理学)	募集人員：若干名
	物理工学 ユニット 物理工学教育分野 (PSD) 半導体物理工学教育分野 (PSD)	
	電子情報システム ユニット 情報システム教育分野 (TED または PED) 電気電子ネットワーク教育分野 (TED または PED) 集積エレクトロニクス教育分野 (TED または PED)	

※ユニットは入試実施上の区分であり、入学者は上記の各教育分野に所属します

※ () 内は教育プログラムを表します。

2. 出願資格

出願時に日本国政府（文部科学省）奨学金を研究留学生（学部留学生を除く）として受給している者、又は奨学金の受給が決定している者で、次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び本大学院入学の前までに卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び本大学院入学の前までに修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び本大学院入学の前までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び本大学院入学の前までに修了見込みの者
- (4) の2 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (5) 個別の審査により、大学を卒業したと同等以上の学力があると本学府が認めた者で、本大学院入学の前までに22歳に達するもの

注意事項

- ①出願資格の（5）に該当するものとは、上記（1）～（4）の2に該当しない者で、本学府の個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等の学力があると認めた者で、本大学院入学の前までに22歳に達する者です。主に該当する者は、大学卒業までに16年を要しない国の大学を卒業した国費外国人留学生であって、大学教育修了後、日本国内又は外国の大学、大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員として1年以上研究に従事した者及び本大学院入学の前までに1年以上研究に従事する見込みの者です。
- ②出願資格（4）の2および（5）により出願を希望する者は、出願資格認定審査を受ける必要があります。あらかじめ志望指導教員と相談のうえ、次の書類を任意の封筒に封入し、**2026年5月11日（月）～5月13日（水）**の間に理工学府係まで提出してください。申請書類は郵送または窓口で受け付けますが、いずれも期間内必着とします。
(窓口受付は9時から17時まで。ただし12時45分から13時45分を除く。)

【出願資格(4)の2および(5)によって出願を希望する者が提出する書類】

- ①申請書類送付内訳書(別紙1)
- ②出願資格認定申請書(書式12)
- ③出願資格認定用経歴調書(書式13)
- ④最終学歴の卒業(見込み)証明書又は在学期間(見込み)証明書
- ⑤最終学歴の成績証明書
- ⑥研究業績調書(書式16)
- ⑦研究(希望)計画書(書式17)
- ⑧410円の切手(速達料を含む)を貼付した住所及び氏名明記の返信用封筒(長形3号)

出願資格認定審査は、横浜国立大学大学院理工学府において行い、審査の結果は、**2026年5月26日(火)**に郵送します。出願資格を有すると認められた者は、所定の出願期間に手続きをしてください。その他、出願資格について不明な点は、理工学府係に問い合わせてください。

3. 出願手続

2026年5月22日(金)から6月2日(火)までにWeb出願システムにて出願者の情報入力、必要書類の登録を行ってください。

Web出願システム URL : <https://e-apply.jp/e/ynu/>

注意事項

- ①Web出願システムの入力において、60分間通信がない場合は、エラーとなりますので、ご注意ください。
- ②Web出願システムにおける入力作業を一時中断する場合は、「一時保存」をクリックしてログアウトしてください。再ログイン後、入力を再開することができます。これ以外の方法で入力作業を中断した場合は、入力内容が取り消されます。
- ③Web出願システムの操作方法に関するお問い合わせは、以下へお願いします。
「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター
(運用会社：株式会社キャリアタス)

TEL : 0120-202079 (受付時間：月～金 10:00～18:00)

E-Mail : cvs-web@career-tasu.co.jp

4. 出願書類等

出願に必要な本学所定の様式は、理工学府ウェブサイトからダウンロードして作成してください。

出願書類等	注意事項	書式番号
出願書類送付内訳書	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用してください。	別紙2
入学願書	Web出願システムにて必要事項(志願者の氏名、連絡先、学歴、志望先(専攻、ユニット、教育分野、プログラム、指導教員)等)を入力してください。	1-1

写真データ	出願者本人の顔写真のデータを登録してください。 ファイル形式は jpeg、png、bitmap、gif に対応しています。 上半身・無帽・正面向き、提出前 3 か月以内に撮影した鮮明なカラー写真で 2MB までのデータを登録してください。 なお、アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。	
卒業（見込）証明書	出身大学（在籍大学）長又は学部長が作成したものを登録してください。 ・学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて登録してください。[ただし、出願資格（1）による出願者は除く。] ・日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を併せて登録してください。	
成績証明書	出身大学（在籍大学）長又は学部長が作成したものを登録してください。 日本語または英語以外で作成された証明書は、日本語訳または英語訳を併せて登録してください	
在留資格に関する証明	現在日本に居住している志願者は、在留カードの写し（両面）を登録してください。その他の志願者は、パスポートの写しを登録してください。	
外国人留学生履歴書	Web 出願システムにて必要事項を入力してください。[ただし、出願資格（1）による出願者は除く。]	19-1
受入内諾書	理工学府ウェブサイトより様式をダウンロードして作成し、 Web 出願システムに登録してください。志望指導教員の署名を得たうえで提出してください。志望指導教員の署名は原本でなくてもかまいません。	19-2
これまでの研究内容 および研究計画書 (先端化学ユニット)	(先端化学ユニット志願者のみ提出) 理工学府ウェブサイトより様式をダウンロードして作成し、 Web 出願システムに登録してください。	21
国費外国人留学生 証明書	(日本国政府（文部科学省）国費外国人留学生のみ) 国費外国人留学生証明書を登録してください。	

注意事項

出願資格（4）の2および（5）による出願者は、出願資格認定審査の申請時に提出した証明書の再提出を免除します。

5. 受験票

2026年6月17日(水)までに、出願を正式に受理した旨を電子メールでお知らせします。受験票は**Web**出願システムにログインして印刷してください。印刷した受験票は試験当日に持参してください。受験票（表・裏）には何も記入してはいけません。

6. 選抜方法

選抜は、学力検査（外国語（英語）、学科試験Ⅰ、学科試験Ⅱ）、出願書類及び面接によって行い

ます。なお、外国語(英語)の試験は、TOEIC、TOEFL のスコア (詳細は「9. TOEIC、TOEFL のスコアについて」のとおり) を用います。

学科試験の内容は、8 (1) を参照してください。面接では、これまで取り組んできた研究内容や教育プログラムへの適性について口頭試問を行います。学科試験 I、学科試験 II 及び面接を1つでも欠席した場合および、有効な TOEIC、TOEFL スコア証明書を提出しなかった場合は、合格者とはなりません。

7. 試験・面接日程

日時	科目名	配点	備考
—	外国語(英語)	100点	TOEIC、TOEFL のスコア証明書を 用います。
8月20日(木)	学科試験 I	200点 (化学応用・バイオユニットは 配点300点)	10時30分～12時30分
	学科試験 II	200点 (化学応用・バイオユニットは 配点100点)	13時30分～15時30分 (ただし先端化学ユニット、化学 応用・バイオユニットを除く)
8月20日(木)～ 8月21日(金)	面接	—	—

注意事項

- ①試験日時・会場は、**2026年8月7日(金)**までにWeb出願システムでお知らせします。
- ②受験者は試験開始20分前に試験室に入室してください。
- ③TOEIC、TOEFL のスコア証明書 (詳細は「9. TOEIC、TOEFL のスコアについて」のとおり) を学科試験 I の試験時間中に回収します。
- ④学科試験に限り語学の辞書 (電子辞書は不可) を使用することができます。
- ⑤学科試験および面接において解答に日本語または英語のみを使用することができます。
- ⑥学科試験および面接は、横浜国立大学構内 (横浜市保土ヶ谷区常盤台) で行います。

8. 試験内容

(1) 学科試験科目

ユニット	学科試験 I (配点 200 点) (化学応用・バイオユニットは配点 300 点)	学科試験 II (配点 200 点) (化学応用・バイオユニットは配点 100 点)
機械工学	①数学 (50 点) ②熱力学 (50 点) ③材料力学 (50 点) 計 150 点を 200 点に換算	①機械力学 (50 点) ②流体力学 (50 点) ③制御工学 (50 点) 計 150 点を 200 点に換算
材料科学 フロンティア	①解析学 (微分、積分、微分方程式) ②線形代数学 (行列とその応用、連立一次方程式) ③力学 ④物理化学 (熱力学) ⑤統計物理学	①材料力学 ②固体電子論 ③結晶塑性学 ④金属組織学 I (結晶、状態図、及びそれらの関連分野) ⑤金属組織学 II (拡散、回復・再結晶、相変態、

	合計 5 題 (各 40 点)	及びそれらの関連分野) 合計 5 題 (各 40 点)
海洋空間システムデザイン	①解析学(微分・積分、微分方程式) (50 点) ②線形代数(50 点) ③剛体の力学(50 点) 計 150 点を 200 点に換算	①流体力学(50 点) ②材料力学(50 点) ③振動工学(50 点) ④船舶海洋工学(浮体静力学、復原性)(50 点) ⑤航空宇宙工学(飛行体・航行体の質点の力学)(50 点) 合計 5 題中 3 題解答、計 150 点を 200 点に換算
先端化学	①数学(解析学、線形代数学、微分方程式) ②基礎無機化学 ③基礎分析化学 ④基礎物理化学 ⑤基礎有機化学 合計 5 題 (各 40 点)	化学全般の基礎知識、これまでの研究内容ならびに希望する研究分野について入学後の研究計画に関わる専門知識について口述試験を行う。(様式 21) (200 点)
化学応用・バイオ	①数学(解析学、線形代数学、微分方程式の範囲) ②基礎化学 I(基礎無機化学、基礎分析化学の範囲) ③基礎化学 II(基礎物理化学、基礎有機化学の範囲) ④化学工学基礎(移動速度論、物質・エネルギー収支、相平衡の範囲) 合計 4 題(各 75 点)	これまでの研究内容や希望する研究分野に関する基礎知識・専門知識について口述試験を行う。 (100 点)
数理科学	①線形代数学(50 点) ②微分積分学(50 点) ③集合(50 点) ④位相(50 点)	①代数(50 点) ②幾何(50 点) ③解析(50 点) ④確率・統計(50 点)
物理工学	物理 I (物理数学、力学、電磁気学から出題する)(200 点)	物理 II (量子力学、熱・統計力学から出題する)(200 点)
電子情報システム	①線形代数学(100 点) ②微分積分学(100 点)	①電磁気学(50 点) ②回路理論(50 点) ③論理回路(50 点) ④アルゴリズム(50 点)

(2) 学科試験受験にあたっての指示事項

ユニット	指示事項
先端化学	プログラム機能をもたない関数電卓の持ち込み可
化学応用・バイオ	プログラム機能をもたない関数電卓の持ち込み可

9. TOEIC、TOEFL のスコアについて

対象となる試験および提出するスコア証明書は以下のとおりです。

対象となる試験	提出するスコア証明書	公式サイト
TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト)	【試験当日に提出】 Official Score Certificate (公式認定証)	TOEIC https://www.iibc-global.org/toeic.html

TOEFL-iBT (Home Edition を含む)	【大学に直送】 Official Score Report かつ 【試験当日に提出】 Test Taker Score Report	TOEFL https://www.toefl-ibt.jp/
------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------

※1 TOEIC-IP 及び TOEFL-ITP などの団体受験制度、TOEIC Bridge, TOEIC Speaking & Writing Test, TOEFL-PBT は認められません。

※2 日本国内で受験した場合に限り、TOEIC Listening & Reading Test (公開テスト) については、QR コード付きデジタル公式認定証も可とします。その場合はデジタル公式認定証をプリントアウトしたものを提出してください。なお、デジタル公式認定証に表示される QR コードを用いてその真正性を確認します。

※3 TOEFL スコア証明書 (Official Score Report) は、ETS を通じて大学に直送する必要があります。横浜国立大学の機関コードは「0410」です。

スコアの確実な確認を行うため、試験当日にスコア証明書 (Test taker score report) を提出してください。なお、スコアの受領に関する問い合わせには応じません。

○TOEIC、TOEFL いずれかのスコア証明書 (コピーやダウンロードした PDF は上記※2 及び※3 の場合を除いて不可、原本のみ。以下同じ) を、試験当日に提出してください。スコア証明書は、学科試験 I の試験時間中に回収します。

○有効なスコア証明書は、TOEIC、TOEFL の受験日が提出日から起算して **2年以内**で顔写真付きのものです。無効となるスコア証明書を提出した場合や、試験当日にスコア証明書の提出がない場合は、**合格者とはなりません。**

○TOEFL のスコアについて、Test Taker Score Report に記載される My Best Scores は利用しません。

○TOEIC、TOEFL のスコアについては、以下の得点換算表を用いて 100 点満点に換算し、外国語 (英語) の得点とします。

【TOEIC Listening & Reading Test】

TOEIC	換算方法	外国語 (英語)
801 点以上	-	100 点
800 点 ~ 500 点	$(\text{TOEIC} - 500) / 6 + 50$	100 点 ~ 50 点
500 点 ~ 350 点	$(\text{TOEIC} - 350) / 3$	50 点 ~ 0 点
349 点以下	-	0 点

【TOEFL-iBT】

TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)	TOEFL-iBT	外国語 (英語)
120~90	100	76	84	63~62	66	51	47	41	18
89	99	75~74	82	61	64	50~49	43	40	15
88	98	73~72	80	60~59	63	48	40	39	12
87~86	96	71	78	58	61	47	38	38	7
85~84	95	70~69	75	57	59	46	34	37~36	2
83	92	68	74	56	56	45	31	35~0	0
82~81	90	67~66	73	55~54	55	44	28		
80~79	88	65	71	53	53	43	24		
78~77	87	64	68	52	51	42	21		

○小数点以下の得点は四捨五入します。

○提出されたスコア証明書は、志願者へ返却しません。

10. 合格者発表

2026年9月3日(木) 16時頃

合格者には「合格通知書」を郵送します。また、横浜国立大学大学院理工学府のウェブサイト (<https://www.fse.ynu.ac.jp/index.html>) に合格者受験番号を掲載します。

注意事項

- ①「合格通知書」をもって、正式な通知とします。
- ②電話等による合否結果の問い合わせには一切応じません。

11. 入学手続

(1) 入学手続期間：**【2026年10月入学】2026年9月4日(金)～9月10日(木)**

(2) 入学料・授業料：納入不要です。

入学手続については合格通知書を郵送する際に別途案内します。上記の入学手続期間に手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

12. 受験及び修学の上で配慮を必要とする入学志願者の配慮申請について

心身の障がい等のある者が、受験及び修学の上で配慮が必要となる場合は、出願前までに必ず申請書を作成し申し出てください。

また、出願後の不慮の事故などにより、受験及び修学の上で配慮が必要となった場合も、その時点で速やかに申し出てください。

【申請方法】

- (1) 申請は、下記の様式例を参考に申請書を作成し、診断書(原本または写し)または身体障害者手帳(写し)、その他参考資料を添えて申請してください。
- (2) 申請内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。
- (3) 申請・連絡先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5
横浜国立大学理工学系事務部教務課 理工学府係
電話番号 045-339-3817

【様式例 (A4 用紙)】

横浜国立大学長 殿

年 月 日

フリガナ
氏 名
生年月日
住 所 〒
電話番号
Email

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり配慮の申請をします。

記

1. 志望する学府・専攻・ユニット・教育分野
2. 障がい等の種類、程度
3. 受験に際して配慮を希望する事項・内容
4. 入学後の修学に際して配慮を希望する事項・内容
5. 出身大学在学中にとられていた配慮事項・内容
6. そ の 他

(添付書類) 診断書 (原本または写し) または身体障害者手帳 (写し)、その他参考資料

1.3. 注意事項

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (2) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。
- (3) 出願書類等は返却しません。
- (4) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (5) 出願する際に登録する氏名はなるべく常用漢字を使用してください。常用漢字以外を使用した場合、コンピュータで表記できないことがあります。その場合、合格通知書及び入学許可書には出願時に登録した氏名と異なる漢字に置き換えることがあります。
- (6) 志望する教育分野、教育プログラム、指導教員については、入試の成績によっては志望のとおりとならない場合があります。第2志望以下についても考慮しておいてください。
- (7) 提出した卒業証明書や成績証明書について第三者による認証証明が必要だと本学が判断した場合には、志願者の費用負担で本学が指定する認証機関において認証に係る審査を受けていただく場合があります。
- (8) 本試験に関する変更等が生じた場合は、理工学府のウェブサイトでお知らせすると共に出願者に通知します。
- (9) 試験当日は、必ず受験票を携帯してください。
- (10) 学科試験Ⅰ・Ⅱ、及び面接を1つでも欠席した場合および、有効なTOEIC、TOEFLスコア証明書を提出しなかった場合は、合格者とはなりません。
- (11) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切ってカバン等の中にしまってください。
- (12) 以下の行為は、不正行為となります。不正行為があった場合は、直ちに受験を中止させ、退場の措置をとり、以後の受験を認めません。また、すでに受験した教科の成績は無効とします。
 - ①カンニングをすること。また、他の受験者に答えを教える等カンニングの手助けをすること。
 - ②試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること。また、試験終了の指示に従わず、鉛筆等を持っていたり解答を続けていたりすること。
 - ③試験時間中に問題冊子や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ④試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具を使用すること。※使用を許可されたものを除く
- (13) 以下の行為は、不正行為となることがあります。不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(12)と同じです。

II-3 (国費外国人留学生特別選抜)

- ①試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末・タブレット端末・イヤホン等の電子機器類や定規・辞書等の補助具をカバンの中にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。※使用を許可されたものを除く
- ②試験場、試験室及び控室において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ③試験場、試験室及び控室において、監督者等の指示に従わないこと。
- ④その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

III 博士課程前期の概要

1. 大学院教育研究の目的

実践的学術の国際拠点を目指す本学の理工系大学院の基幹をなす理工学府において、自らの専門分野以外の方の分野の科学技術にも目を向ける進取の精神に富み、高い倫理観とグローバルに活躍するために必要な国際的に通用する知識と能力において理学と工学の両方のセンスを兼ね備えた理工系人材を育成することにより、ものづくりを中心とした産業を更に強化・発展させる。

理工学府博士課程前期では、自らの専門分野における専門科目で培われる知識と能力に加え、理工系人材の基盤となる情報数理系科目、学府共通科目、専攻共通科目の修得などによる基盤的学術に関する幅広い教育と、独創的な技術と知の創造を可能にする研究活動を通じて、自ら課題を探索し、未知の問題に対して幅広い視野から柔軟かつ総合的な判断を下して解決し得る高度専門職業人としての技術者・研究者を育成する。

2. 専攻の特色と育成人材像

2.1 機械・材料・海洋系工学専攻

機械工学、材料工学、船舶海洋工学、航空宇宙工学は、基本原理に立脚した要素技術を組み合わせ、高度なシステムや高機能の材料を作り上げる工学である。そのため本専攻では、基本原理の理解と応用のための理学的センスの教育及び技術革新のグローバル化への適応力の育成を強化し、科学を基礎に置く要素技術、要素の機能を引き出す設計技術、社会や環境との調和を図る生産技術を統合して高度なシステムや高機能の材料を生み出す教育と研究を行い、実践的な高度専門技術者・研究者としてグローバルに活躍できる人材を養成する。

2.1.1 教育分野

機械・材料・海洋系工学専攻は、以下の5つの教育分野から構成される。それぞれの教育分野に、付与される学位と教育プログラム名を併記する。

- ・機械工学教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム
- ・材料工学教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム
- ・海洋空間教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム
- ・航空宇宙工学教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム
- ・集積プロセス工学教育分野：修士（工学）、工学（TED）プログラムまたは工学（PED）プログラム

2.1.2 教育プログラム

機械・材料・海洋系工学専攻での教育は、前節で示した各教育分野で行われるが、学位取得のためのプロセスとしての2つの教育プログラムを用意している。

- ・工学（TED）プログラム（機械工学教育分野、材料工学教育分野、海洋空間教育分野、航空宇宙工学教育分野、集積プロセス工学教育分野）

機械工学教育分野では、機械工学に関する基礎的能力を有し、先進的な機械あるいは機械システムを構築するための高度な能力と専門知識を備えることを目指す人を求める。材料工学教育分野では、材料工学・材料科学に関する基礎的能力を有し、材料の力学と加工、材料の強度と組織、材料の機能と構造、材料の物理化学の各分野に関する高度な技術を学びたい人を求める。海洋空間教育分野では、船舶海洋工学に関する基礎的能力を有し、海洋空間を利用するた

めの技術や基盤技術を統合する技術に積極的に取り組める人を求める。さらに機械工学、材料工学、船舶海洋工学のそれぞれの分野に関する基礎知識に基づいて、大気圏・宇宙を利用するための航空宇宙工学に関する技術を学びたい人、半導体後工程、加工、造形、評価・解析に関わる集積プロセス工学の技術を学びたい人を求める。

・工学 (PED) プログラム (機械工学教育分野、材料工学教育分野、海洋空間教育分野、航空宇宙工学教育分野、集積プロセス工学教育分野)

機械工学教育分野では、機械工学に関する基礎的能力を有し、機械工学に係わる諸問題に対してグローバルに対応できる、実務能力を備えることを目指す人を求める。材料工学教育分野では、材料工学・材料科学に関する基礎的能力を有し、材料の力学と加工、材料の強度と組織、材料の機能と構造、材料の物理化学の各分野の実践的な技術を学びたい人を求める。海洋空間教育分野では、船舶海洋工学に関する基礎的能力を有し、海洋空間を利用するための機器の計画、建造、運用に関する実践的な技術課題に積極的に取り組める人を求める。さらに、機械工学、材料工学、船舶海洋工学のそれぞれの分野に関する基礎知識に基づいて、大気圏・宇宙を利用するための実践的な航空宇宙工学の技術課題に取り組みたい人、半導体後工程、加工、造形、評価・解析に関わる実践的な集積プロセス工学の技術課題に取り組みたい人を求める。

2.2 化学・生命系理工学専攻

現代の物質文明は、創造的自然科学に基づいた機能材料の開発とそれを活用する技術開発の総合的で高度な科学技術を基盤として発展している。その持続的発展のためには、優れた物質や材料の探求、生産システムの構築、生命現象の解明と応用が重要な鍵となり、従来の化学にかかわる学問体系を超え、数理や情報等も含めた総合的な体系が必要である。化学・生命系理工学専攻では、化学と生命を中心に据え、自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・生命に関連する広範な課題に原理原則と情報を活用して総合的に対処できる基礎力と総合力を持ち、進化する科学技術に対応できる、国際的な視野を持った人材を育成する。

2.2.1 教育分野

化学・生命系理工学専攻は、以下の4つの教育分野から構成される。それぞれの教育分野に、付与される学位と教育プログラム名を併記する。

- ・化学教育分野：修士 (理学)、理学 (PSD) プログラム
- ・応用化学教育分野：修士 (工学)、工学 (TED) プログラム
- ・エネルギー化学教育分野：修士 (工学)、工学 (TED) プログラム
- ・化学応用・バイオ教育分野：修士 (工学)、工学 (TED) プログラムまたは工学 (PED) プログラム

2.2.2 教育プログラム

化学・生命系理工学専攻での教育は、前節で示した各教育分野で行われるが、学位取得のためのプロセスとしての3つの教育プログラムを用意している。

・工学 (TED) プログラム (応用化学教育分野、エネルギー化学教育分野、化学応用・バイオ教育分野)

物質・材料の基盤となる無機化学、分析化学、物理化学、有機化学等の諸分野に加え、材料工学、エネルギー化学、触媒化学、高分子化学、生化学、化学工学、生物工学等に関する基礎的知識を有し、新しい機能を発現する分子・材料の探求や生産システムの構築、エネルギーの変換や利用に資する材料の創出やプロセスの構築、生命現象の解明と応用などに関して、自ら課題を設定し深く探求するとともに、未知の問題に対して幅広い視野から柔軟かつ総合的に判断するための基礎研究能力・基礎開発能力を育成する。本プログラムでは、化学、エネルギー化学、バイオ・ライフサイエンスに関して、専門分野の探求にとどまらず、広く他分野にも目を向けることができ、進化する科学技術に対応できる基礎的能力を身に付けた人材を育成する。

・工学 (PED) プログラム (化学応用・バイオ教育分野)

物質・材料の基盤となる無機化学、分析化学、物理化学、有機化学等の諸分野に加え、材料工学、化学工学、生物工学、生化学等に関する基礎知識を有し、優れた物質や材料の探求、生産システムや機器の設計、あるいは生命現象の解明と応用に関して、基礎知識を総合して応用技術を構築する基礎的能力の育成を主眼として教育する。本プログラムでは、化学工学、エネルギー化学、材料工学、バイオ・ライフサイエンスおよびこれらの関連分野について、ものづくり・エネルギー・生命に関連する広範な課題に原理原則と情報を活用して、総合的に対処できる基礎的能力と進化する科学技術に対応できる国際的かつ実践的な能力を身に付けた人材を育成する。

・理学 (PSD) プログラム (化学教育分野)

無機化学、分析化学、物理化学、有機化学、触媒化学、高分子化学、電気化学、生物化学等の化学の諸分野において、分子・材料の設計原理およびその合成方法の探求や、化学的事象・物性等の解明を行うことにより、化学分野における学術的探求についての基礎能力を涵養する。併せて、有機・無機材料工学、触媒工学、生物工学等、化学・生命系諸分野の工学的応用に関する教育を行うことにより、化学分野における工学的価値観の基盤を育成する。これらの教育を総合することにより、理学的な真理探究のみならず、理学的基礎科学に基づいた次世代の基盤材料開発にも貢献できる基礎的能力を身に付けた、サイエンス型化学産業の育成に資する人材を養成する。

2.3 数物・電子情報系理工学専攻

社会を一変させた目覚ましい情報・通信技術の革新は、電気・電子・通信・情報工学の著しい深化によりもたらされた。新しいパラダイムシフトやイノベーションの創出と実現のためには、数理科学、物理学などの基礎 (理学) から応用 (工学) に至る広範囲な分野に精通した総合的・学際的見識が求められている。数物・電子情報系理工学専攻 (博士課程前期) の人材養成目的は、数理科学、物理学、電気工学、電子工学、通信工学、情報工学、医療情報工学、応用物理学などの幅広い分野での教育・研究を通じて、実践的な技術者、研究者としてグローバルに活躍のできる創造的な人材の育成である。

2.3.1 教育分野

数物・電子情報系理工学専攻は、以下の6つの教育分野から構成される。それぞれの教育分野に、付与される学位と教育プログラム名を併記する。

- ・数学教育分野：修士 (理学)、理学プログラム
- ・物理工学教育分野：修士 (理学)、PSD プログラム
- ・半導体物理工学教育分野：修士 (理学)、PSD プログラム
- ・情報システム教育分野：修士 (工学)、工学 (TED) プログラムまたは工学 (PED) プログラム
- ・電気電子ネットワーク教育分野：修士 (工学)、工学 (TED) プログラムまたは工学 (PED) プログラム
- ・集積エレクトロニクス教育分野：修士 (工学)、工学 (TED) プログラムまたは工学 (PED) プログラム

2.3.2 教育プログラム

・工学 (TED) プログラム (情報システム教育分野、電気電子ネットワーク教育分野、集積エレクトロニクス教育分野)

上記の基礎的な学力を有し、さらに高度な専門性を身につけ、未知の問題に対して幅広い視野から柔軟かつ総合的な判断を下して解決できる力を持つ、世界で活躍できる技術者・研究者を目指す人を求める。

・工学 (PED) プログラム (情報システム教育分野、電気電子ネットワーク教育分野、集積エレクトロニクス教育分野)

上記の基礎的な学力を有し、多様化・高度化した産業社会の現代的課題に対応できる実務家型技術者・研究者となることに情熱を持つ人を求める。

・理学及びPSDプログラム（数学教育分野、物理工学教育分野、半導体物理工学教育分野）

物理学又は数理科学の基礎的な知識を有し、その知見を活用する能力を有するとともに、自らの専門分野における高度な専門性と、関連分野に対する広い視野を持つことにより、世界で活躍できる技術者・研究者などを目指す人を求める。

IV 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例 による教育の実施について (社会人技術者又は研究者に対する大学院教育の特例)

近年、大学院における社会人技術者又は研究者の継続研修・再教育及び博士の学位取得の要望が高まっておりますが、通常の教育方法のみで大学院教育を実施した場合、社会人は、最低博士課程前期は2年間、博士課程後期は3年間その勤務を離れて就学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制約されがちです。

一方、大学院設置基準（文部科学省令）第 14 条では、「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期においては授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されており、社会人等の就学に配慮がなされています。これらの背景を踏まえ同条に定める教育方法の特例による教育を、大学院での履修を希望する社会人技術者又は研究者に対し実施しています。

この内容は次のとおりです。

- (1) 修学年限（博士課程前期2年、博士課程後期3年）のうち1年間は、原則として、全日登学をすること。
- (2) 特例による授業は平日の夜間（17時50分～19時20分）に開設するが、昼間の授業を含めた全時間帯の受講を許可する。
- (3) 博士課程前期では学業に専念する1年間は主として修士研究に充てられるように修了に必要な授業の単位修得は夜間（17時50分～19時20分）の授業を利用して行うよう履修計画を立てること。したがって、学業に専念する期間における昼間の受講は夜間に開講されていない授業に限ることが望ましい。
- (4) 入学に当たっては、指導教員の指導のもとに、博士課程前期は2年間、博士課程後期は3年間を見通した履修計画をたてること。
- (5) 修学年限で修了するのが勤務の都合上無理な場合は、あらかじめ博士課程前期は3～4年間、博士課程後期は4～6年間にわたる履修計画をたてることも考慮すること。
- (6) 「特例」による履修計画の変更はその都度申し出て許可を得ること。

本学大学院理工学府は、上記特例の適用によって、勤務を離れる期間を1年間に短縮する条件を醸成することにより、通常の教育方法のみでは実現することが難しい社会人技術者の大学院入学の機会を与えて、継続研修及び再教育の場を提供することを目指しております。研究のテーマに柔軟性を持たせ、企業での実践的研究も、その研究が修士・博士研究にふさわしければ認めるなど、社会人の入学を橋渡しとして、大学と産業界との交流を深め、新しい学問と技術の発展に寄与することも特例を実施する目的の一つであります。

V 長期履修学生について

長期履修学生とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士課程前期2年、博士課程後期3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して課程を修了することが認められた者をいいます。

長期履修学生に認定された者は、一般の学生とは異なり、修学年数に関係なく、標準修業年限（博士課程前期2年、博士課程後期3年）分の授業料で修学することができます。

1. 申請資格

社会人特別選抜に出願し合格した者で入学後も職業を有しているものが長期履修学生の申請を行うことができます。

2. 申請の手続き

長期履修学生の申請を希望する者は、次の手順に従い手続きを行ってください。下記手続きを、ひとつでも怠ると審査の対象者とならないので注意してください。

(1) 出願前

志望指導教員に連絡を取る段階で、長期履修学生の適用を希望する旨申し出てください。

(2) 出願時

入学願書の長期履修学生適用希望欄にチェックを入れてください。

(3) 入学手続時

次の書類を入学手続書類と同封し、理工学府係へ提出してください。

- ・長期履修学生申請書（入学手続時に配布予定）
- ・在職証明書又は在職が確認できる書類（様式は任意）

3. 可否の認定

申請書類に基づき審査のうえ認定の可否を決定し、入学後に通知します。

4. 在学期間

長期履修学生の在学期間は、博士課程前期にあつては2年3か月以上4年まで、博士課程後期にあつては3年3か月以上6年までとなります。

なお、各年度の修了月は、3月のほかに6月、9月、12月となっていますので、長期履修学生申請書に修了予定年月を記入してください。

5. 授業料の年額

長期履修学生の授業料年額は、授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を在学期間の年数で除した額となります。

(算出例1) 博士課程前期の長期履修学生申請者が在学期間3年と認定された場合

$$535,800 \text{ 円} \times 2 \text{ 年} \div 3 \text{ 年} = 357,200 \text{ 円}$$

(授業料の年額) (標準修業年限) (認定された在学期間) (長期履修学生の授業料年額)

(算出例2) 博士課程後期の長期履修学生申請者が在学期間5年と認定された場合

$$535,800 \text{ 円} \times 3 \text{ 年} \div 5 \text{ 年} = 321,480 \text{ 円}$$

(授業料の年額) (標準修業年限) (認定された在学期間) (長期履修学生の授業料年額)

6. 在学期間の短縮

長期履修学生は、修了時に限り認定された在学期間を短縮することができます。在学期間の短縮を希望する者は、当該学年を修了する2ヶ月前までに「長期履修学生在学期間短縮願」を提出し、承認を得なければなりません。

在学期間を短縮する際には、標準修業年限(博士課程前期2年、博士課程後期3年)分の授業料からすでに納付済みの授業料を差し引いたを一括で納付することになります。

7. 在学期間の延長

長期履修学生で特別な事情がある場合は、在学期間の延長をすることができます。在学期間の延長を希望する者は、在学期間が満了する2ヶ月前までに「長期履修学生在学期間延長願」を提出し、承認を得なければなりません。ただし、在学期間の延長は1度限りです。

なお、在学期間は、博士課程前期4年、博士課程後期6年を超えることができません。

また、在学期間延長後の授業料は、標準修業年限(博士課程前期2年、博士課程後期3年)分の授業料からすでに納付済みの授業料を差し引いた分を延長期間で新たに算出し、納付することになります。

8. その他

長期履修学生の申請にあたっては、出願前に志望指導教員とよく相談してください。

VI ChatGPTをはじめとする生成 AI の利用について

横浜国立大学では、学生に対して、ChatGPT などの生成 AI に対する注意喚起を行っています。入学試験に関しても、下記の注意事項を踏まえて、必要な提出書類等の作成を行うようお願いいたします。

なお留学生の皆さんは、下記の他、必要に応じて各国、地域の方針・法令等も踏まえるようお願いいたします。

【注意事項】

生成 AI に入力した情報は、AI の学習に利用されたり、意図せず漏洩したりする恐れがあります。また生成 AI の出力する情報は、出典が明らかではなく、虚構や、偏った主張、倫理上問題のある表現などが含まれている危険性があります。

出願書類等の作成に当たっては、横浜国立大学の「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を確認し、不正が疑われたり、入学後に学修上のミスマッチが起きたりしないよう、自らの責任において十分に考えたものを提出してください。

Ⅶ アクセス案内

本学までの経路の詳細は本学ウェブサイトの「アクセス案内」を参照してください。

<https://www.ynu.ac.jp/access/index.html>

本学キャンパスマップは本学ウェブサイトの「キャンパスマップ」を参照してください。

https://www.ynu.ac.jp/access/map_campus.html

[注1] 羽沢横浜国大駅から本学までの経路には、歩道が非常に狭い箇所がありますので、通行には十分注意してください。

[注2] バスは、運行本数や乗車人数に限りがあるほか、渋滞や天候の影響を受けやすく、定刻通りに本学へ到着できないことがあります。そのため、試験当日はバスの利用を推奨していません。

機械工学ユニット / Mechanical Engineering Unit (1/2)					
氏名 / Name	職名 / Title	担当教育分野 / Specialization (M: 博士課程前期 / Master's program) (D: 博士課程後期 / Doctoral program)	専門分野 / Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士 / D	修士 / M
アラキ タクト 荒木 拓人 ARAKI Takuto	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)、 エネルギー材料Energy Materials(D)	熱流体工学、移動論、燃料電池、マイクロ電気・機械システム / Thermo-fluid Dynamics, Mass and heat Transfer, Fuel Cells, Micro Electro Mechanical Systems	○	○
イシイ カズヒロ 石井 一洋 ISHII Kazuhiro	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)、 航空宇宙工学Aerospace Engineering(M)	燃焼工学、推進工学 / Combustion Engineering, Chemical Propulsion	○	○
イノウエ フミヒロ 井上 史大 INOUE Fumihiro	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)、 集積プロセス工学Process Integration (M)	半導体パッケージング、三次元実装技術 / Advanced Packaging and 3D Integration	○	○
ユ キョウ 于 強 YU Qiang	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)、 集積プロセス工学Process Integration (M)	計算力学、材料力学 / Computational Mechanics, Strength of Materials	○	○
オオタ ヒロキ 太田 裕貴 OTA Hiroki	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)、 集積プロセス工学Process Integration (M)	マイクロ・ナノ加工、センシング工学、ソフトマテリアル / Micro/Nano fabrication, Sensor engineering, Soft material	○	○
オザキ シンゴ 尾崎 伸吾 OZAKI Shingo	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)、 エネルギー材料Energy Materials(D)	構成方程式、塑性力学、摩擦、自己治癒材料、テラメカニクス / Constitutive Equation, Plasticity, Friction, Self-healing materials, Terramechanics	○	○
カトウ リュウ 加藤 龍 KATO Ryu	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)	ロボット工学、医用福祉機械、リハビリテーション工学、ブレインマシンインターフェース / Robotics, Medical welfare machine, Rehabilitation engineering, Brain machine interface	○	○
キタムラ ケイイチ 北村 圭一 KITAMURA Keiichi	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)、 航空宇宙工学Aerospace Engineering(M)	空気力学、数値流体力学、極超音速流、混相流 / Aerodynamics, Computational Fluid Dynamics, Hypersonic Flow, Multiphase Flow	○	○
サトウ ヤスカズ 佐藤 恭一 SATO Yasukazu	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)	メカトロニクス、電気・機械システム、油空圧工学 / Mechatronics, Electromechanical Systems, Fluid Power Control, Power Transmission	○	○
タカオ ヨシノリ 鷹尾 祥典 TAKAO Yoshinori	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)、 航空宇宙工学Aerospace Engineering(M)	電気推進、プラズマ応用 / Electric Propulsion, Plasma Application	○	○
ヒヤクタク トオル 百武 徹 HYAKUTAKE Toru	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)	流体力学、バイオメカニクス、混相流 / Fluid dynamics, biomechanics, multiphase flow	○	○
マエダ ユウスケ 前田 雄介 MAEDA Yusuke	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)	ロボット工学、生産システム工学 / Robotics, Manufacturing systems engineering	○	○
マツイ ジュン 松井 純 MATSUI Jun	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)	流体機械の内部流れ、数値流体力学 / Internal Flow in Fluid Machinery, Computational Fluid Dynamics	○	○
マルオ ショウジ 丸尾 昭二 MARUO Shoji	教授 Professor	機械工学Mechanical Engineering(MD)、 集積プロセス工学Process Integration (M)	超微細3Dプリンティング、マイクロマシン、マイクロ化学分析システム / Ultrahigh-precision 3D printing, Micromachine, Micro Total Analysis System	○	○
サカイ セイゴ 酒井 清吾 SAKAI Seigo	准教授 Associate Prof.	機械工学Mechanical Engineering(MD)	伝熱、数値シミュレーション、ふく射交換 / Heat Transfer, Numerical Simulation, Radiative Exchange	○	○
シノヅカ ジュン 篠塚 淳 SHINOZUKA Jun	准教授 Associate Prof.	機械工学Mechanical Engineering(MD)	切削加工、有限要素法、材料の動的挙動 / Cutting, FEM, Dynamic Behavior of Material	○	○

機械工学ユニット／Mechanical Engineering Unit (2/2)

氏名／Name	職名／Title	担当教育分野／Specialization (M：博士課程前期／Master's program) (D：博士課程後期／Doctoral program)	専門分野／Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士／D	修士／M
タカオ ユウキ 高尾 勇輝 TAKAO Yuki	准教授 Associate Prof.	機械工学Mechanical Engineering(M)、 航空宇宙工学Aerospace Engineering(M)	宇宙航行力学、宇宙機システム工学／Aerospace dynamics, Spacecraft engineering	-	○
フジサワ ケイ 藤澤 慶 FUJISAWA Kei	准教授 Associate Prof.	機械工学Mechanical Engineering(M)	液滴衝突、エロージョン、研磨、モデリング／Droplet impact, Erosion, Polishing, Modeling	-	○
フチワキ オオミ 淵脇 大海 FUCHIWAKI Ohmi	准教授 Associate Prof.	機械工学Mechanical Engineering(MD)、 集積プロセス工学Process Integration (M)	機構、計測、制御、精密位置決め、マイクロマニピュレー ション、アクチュエータ／Mechanism, Measurement, Control, Precise positioning, Micromanipulation, Actuator	○	○
クサノ カズヤ 草野 和也 KUSANO Kazuya	助教 Assistant Prof.	機械工学Mechanical Engineering(M)	数値流体力学、逆解析、最適化、流体音響学、ターボ機械 ／Computational Fluid Dynamics, Inverse Analysis, Optimization, Aeroacoustics, Turbomachinery	-	○
クロセ キズク 黒瀬 築 KUROSE Kizuku	助教 Assistant Prof.	機械工学Mechanical Engineering(M)	伝熱工学、熱交換器、熱輸送デバイス、相変化熱伝達／ Heat transfer engineering, Heat exchanger, Heat transport device, Phase change heat transfer	-	○
タムラ カズキ 田村 和輝 TAMURA Kazuki	助教 Assistant Prof.	機械工学Mechanical Engineering(M)	計測工学、生体計測、超音波計測、光学計測／ measurement engineering, biomedical measurement, ultrasound measurement, optical measurement	-	○
マナベ ケンゴ 真部 研吾 MANABE Kengo	助教 Assistant Prof.	機械工学Mechanical Engineering(M)	表面界面材料、接着・接合、ソフトトライボロジー、バイ オミメティクス／ Surface and Interfacial Materials, Adhesion and Joining, Soft Tribology, Biomimetics	-	○

材料科学フロンティアユニット / Materials Science Frontier Unit

氏名 / Name	職名 / Title	担当教育分野 / Specialization (M : 博士課程前期 / Master's program) (D : 博士課程後期 / Doctoral program)	専門分野 / Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士 / D	修士 / M
ナカオ ワタル 中尾 航 NAKAO Wataru	教授 Professor	材料工学Material Science Frontier(MD)、 エネルギー材料Energy Materials(D)	機械材料・材料力学、構造・機能材料、無機材料・物性 / Machine material/material mechanics, Inorganic material/physical properties, Structural/functional materials	○	○
ハセガワ マコト 長谷川 誠 HASEGAWA Makoto	教授 Professor	材料工学Material Science Frontier(MD)、 航空宇宙工学Aerospace Engineering(M)	材料強度、破壊力学、材料組織制御、複合材料、コーティ ング / Strength of Materials, Fracture Mechanics, Microstructure Control, Composites, Coatings	○	○
ヒロサワ ショウイチ 廣澤 渉一 HIROSAWA Shoichi	教授 Professor	材料工学Material Science Frontier(MD)、 エネルギー材料Energy Materials(D)	構造材料設計、金属組織制御、計算材料学 / Structural Materials Design, Microstructural Control of Metals, Computational Materials Science	○	○
ムカイ コウキ 向井 剛輝 MUKAI Kohki	教授 Professor	材料工学Material Science Frontier(MD)	半導体ナノ構造、量子光学材料、光電子工学材料、太陽電 池 / Semiconductor Nanostructures, Quantum Optical Material, Optoelectronics Materials, Microfabrication of Metals	-	○
オオタケ ミツル 大竹 充 OHTAKE Mitsuru	准教授 Associate Prof.	材料工学Material Science Frontier(MD)、 エネルギー材料Energy Materials(D)、 集積プロセス工学Process Integration (M)	ナノ材料、結晶成長、磁気物性 / Nanomaterials, Crystal Growth, Magnetism	○	○
ナカツガワ ヒロシ 中津川 博 NAKATSUGAWA Hiroshi	准教授 Associate Prof.	材料工学Material Science Frontier(MD)	機能材料工学、固体電子論、熱電変換材料、第一原理計算 / Functional Material Engineering, Solid State Physics, Thermoelectric Materials, First Principles Calculation	○	○
マエノ トモヨシ 前野 智美 MAENO Tomoyoshi	准教授 Associate Prof.	材料工学Material Science Frontier(MD)	生産加工、塑性加工 / Manufacturing Processes, Forming Processes	○	○
ヤマザキ タカヒロ 山崎 貴大 YAMAZAKI Takahiro	准教授 Associate Prof.	材料工学Material Science Frontier(MD)	物性物理、ナノ力学、マテリアルズ・インフォマティクス / Solid-state physics, Nano mechanics, Materials informatics	-	○
オサダ トシオ 長田 俊郎 OSADA Toshio	客員教授 Visiting Prof.	エネルギー材料Energy Materials(D)	高温構造材料、材料組織学、材料強度学、破壊力学 / High Temperature Structural Materials, Microstructure of Materials, Strength of Materials, Fracture Mechanics	○	-

海洋空間システムデザインユニット／Systems Design for Ocean-Space Unit

氏名／Name	職名／Title	担当教育分野／Specialization (M：博士課程前期／Master's program) (D：博士課程後期／Doctoral program)	専門分野／Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士／D	修士／M
カワムラ ヤスミ 川村 恭己 KAWAMURA Yasumi	教授 Professor	海洋空間Systems Design for Ocean-Space(MD)	構造力学、CAE、構造信頼性／Structural Mechanics, Computer Aided Engineering, Structural Reliability	○	○
ニシ ヨシキ 西 佳樹 NISHI Yoshiki	教授 Professor	海洋空間Systems Design for Ocean-Space(MD)	海洋資源、深海開発、海水淡水化／Marine Resource, Deepsea development, Seawater desalination	○	○
ミヤジ コウジ 宮路 幸二 MIYAJI Koji	教授 Professor	海洋空間Systems Design for Ocean-Space(MD)、 航空宇宙工学Aerospace Engineering(M)	高速空気力学、数値流体力学、航空機設計／High Speed Aerodynamics, Computational Fluid Dynamics, Aircraft Design	○	○
ムライ モトヒコ 村井 基彦 MURAI Motohiko	教授 Professor	海洋空間Systems Design for Ocean-Space(MD)	海洋工学、大型海洋構造物設計、浮体式構造物設計、海洋空間利用システム、流体力学、海洋環境工学／Design of Ocean Structures, Hydroelastic Responses of Huge Floating Structures, Hydrodynamics, Ocean Environmental Engineering, Ocean energy	○	○
タカギ ヨウヘイ 高木 洋平 TAKAGI Youhei	准教授 Associate Prof.	海洋空間Systems Design for Ocean-Space(MD)	数値流体力学、抵抗低減、混相流／Computational Fluid Dynamics, Drag Reduction, Multiphase Flow	○	○
ヒグチ タケヒロ 樋口 丈浩 HIGUCHI Takehiro	准教授 Associate Prof.	海洋空間Systems Design for Ocean-Space(MD)、 航空宇宙工学Aerospace Engineering(M)	航空宇宙機の姿勢制御・誘導制御、航空宇宙システム設計、最適制御、UAV／Attitude Control / Guidance and Control of Aerospace Vehicles, Aerospace Systems Design, Optimal Control, Unmanned Aerial Vehicles	○	○
ヒラカワ ヨシアキ 平川 嘉昭 HIRAKAWA Yoshiaki	准教授 Associate Prof.	海洋空間Systems Design for Ocean-Space(MD)	船体運動、海洋波、水槽実験、実海域実験／Ship Motion, Ocean Wave, Experiments in Towing Tank and Actual Sea	○	○
ミツユキ タイガ 満行 泰河 MITSUYUKI Taiga	准教授 Associate Prof.	海洋空間Systems Design for Ocean-Space(MD)	大規模複雑システム設計、システム工学／Complex Systems Design, Systems Engineering	○	○
リ キョウ 李 僑 LI Qiao	准教授 Associate Prof.	海洋空間Systems Design for Ocean-Space(M)	浮体運動、海洋再生可能エネルギー利用、水産養殖設備／Motion Responses of Floating Structures, Marine Renewable Energy, Aquacultural Engineering	-	○

先端化学ユニット／Advanced Chemistry Unit (1/2)

氏名／Name	職名／Title	担当教育分野／Specialization (M：博士課程前期／Master's program) (D：博士課程後期／Doctoral program)	専門分野／Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士／D	修士／M
アトベ マヒト 跡部 真人 ATOBE Mahito	教授 Professor	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)	有機電気化学、電解合成、電解重合／Organic Electrochemistry, Electrochemical Synthesis, Electrochemical Polymerization	○	○
イナガキ サトシ 稲垣 怜史 INAGAKI Satoshi	教授 Professor	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)	触媒化学、ゼオライト科学、ファインケミカルの環境調和合成／Catalytic Chemistry, Zeolite Science, Environmentally Benign Synthesis of Fine Chemicals	○	○
ウエノ カズヒデ 上野 和英 UENO Kazuhide	教授 Professor	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)、 エネルギー材料Energy Materials(D)	電気化学、有機材料化学／Electrochemistry, Electrolyte materials	○	○
オオヤマ トシユキ 大山 俊幸 OYAMA Toshiyuki	教授 Professor	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(MD)	高分子合成、機能性高分子、感光性高分子、熱硬化性樹脂／Polymer Synthesis, Functional Polymers, Photosensitive Polymers, Thermosetting resins	○	○
カワムラ イズル 川村 出 KAWAMURA Izuru	教授 Professor	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(MD)	構造生物学、生物物理化学、生体高分子／Structural Biology, Biophysical Chemistry, Biomacromolecules	○	○
クボタ ヨシヒロ 窪田 好浩 KUBOTA Yoshihiro	教授 Professor	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)	触媒化学、ゼオライト科学、ファインケミカルの環境調和合成／Catalytic Chemistry, Zeolite Science, Environmentally Benign Synthesis of Fine Chemicals	○	○
コジマ チョウジロウ 児嶋 長次郎 KOJIMA Chojiro	教授 Professor	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(MD)	生物物理化学、構造生物学、ケミカルバイオロジー／Structural Biology, Structural Chemistry, Biological Chemistry, Chemical Biology, NMR	○	○
ドッコ カオル 獨古 薫 DOKKO Kaoru	教授 Professor	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)、 エネルギー材料Energy Materials(D)	電気化学、無機材料化学、電気化学デバイス／Electrochemistry, Materials Chemistry, Electrochemical Devices	○	○
モトクラ ケン 本倉 健 MOTOKURA Ken	教授 Professor	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)、 エネルギー材料Energy Materials(D)	協奏的触媒作用、固定化触媒、二酸化炭素の化学変換／Concerted Catalysis, Supported Catalyst, Chemical Conversion of CO ₂	○	○
ヤブウチ ナオアキ 藪内 直明 YABUUCHI Naoaki	教授 Professor	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)、 エネルギー材料Energy Materials(D)	固体化学、材料化学、電気化学／Solid State Chemistry, Materials Chemistry	○	○
ヤマグチ ヨシタカ 山口 佳隆 YAMAGUCHI Yoshitaka	教授 Professor	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(MD)	錯体化学、有機金属化学、均一系分子触媒／Coordination Chemistry, Organometallic Chemistry, Molecular Catalysts	○	○
イトウ スグル 伊藤 傑 ITO Suguru	准教授 Associate Prof.	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(MD)	有機合成化学、光化学、超分子化学／Organic Chemistry, Photochemistry, Supramolecular Chemistry	○	○
ウブカタ タカシ 生方 俊 UBUKATA Takashi	准教授 Associate Prof.	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(MD)	光機能化学、フォトリソリズム／Photo Functional Chemistry, Photochromism	○	○
キクチ アツサ 菊地 あづさ KIKUCHI Azusa	准教授 Associate Prof.	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(MD)	光物理化学、一重項酸素、フォトリソリズム、有機系紫外線吸収剤／Photophysics and Photochemistry, Singlet Oxygen, Photochromism, Organic UV Absorber	○	○
ゴトウ ヒロアキ 五東 弘昭 GOTOH Hiroaki	准教授 Associate Prof.	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(MD)	有機合成化学、物理有機化学、分子設計／Organic Synthesis, Physical Organic Chemistry, Molecular Design	○	○
シダ ナオキ 信田 尚毅 SHIDA Naoki	准教授 Associate Prof.	化学Chemistry(M)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)	有機電気化学、電解合成、電極触媒、分子触媒／Organic Electrochemistry, Electrosynthesis, Electrocatalyst, Molecular catalyst	-	○

先端化学ユニット／Advanced Chemistry Unit (2/2)

氏名／Name	職名／Title	担当教育分野／Specialization (M：博士課程前期／Master's program) (D：博士課程後期／Doctoral program)	専門分野／Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士／D	修士／M
タタラ リョウイチ 多々良 涼一 TATARA Ryoichi	准教授 Associate Prof.	化学Chemistry(M)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)	電気化学、物理化学、材料化学／Electrochemistry, Physical Chemistry, Materials Chemistry	-	○
フジノ トモコ 藤野 智子 FUJINO Tomoko	准教授 Associate Prof.	化学Chemistry(M)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)	構造有機化学、固体物性化学、材料化学／Structural organic chemistry, Solid-state physical chemistry, Materials chemistry	-	○
サコムラ マサル 迫村 勝 SAKOMURA Masaru	講師 Lecturer	化学Chemistry(MD)、 応用化学Applied Chemistry(MD)	物理化学、表面科学／Physical Chemistry, Surface Science	○	○
イデ ユウスケ 井出 裕介 IDE Yusuke	客員教授 Visiting Prof.	エネルギー材料Energy Materials(D)	鉱物、低次元材料、触媒、光触媒、UV遮蔽／Mineral, Low-Dimensional Material, Catalysis, Photocatalysis, UV Shielding	○	-
マンダイ トシヒコ 万代 俊彦 MANDAI Toshihiko	客員准教授 Visiting Associate Prof.	エネルギー材料Energy Materials(D)	電気化学、溶液化学、構造化学、有機合成／ Electrochemistry, Solution chemistry, Structural chemistry, Organic synthesis	○	-

化学応用・バイオユニット／Chemistry Applications and Life Science Unit (1/2)

氏名／Name	職名／Title	担当教育分野／Specialization (M：博士課程前期／Master's program) (D：博士課程後期／Doctoral program)	専門分野／Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士／D	修士／M
オカザキ シンジ 岡崎 慎司 OKAZAKI Shinji	教授 Professor	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(M【PED only】 D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)	センサ工学、腐食防食工学／Sensor Engineering, Corrosion Engineering, Continuing Engineering Education	○	○
カナイ トシミツ 金井 俊光 KANAI Toshimitsu	教授 Professor	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(MD)	光学材料、コロイド化学、マイクロ流体／Optical Materials, Colloid Science, Microfluidics	○	○
クロダ ヨシユキ 黒田 義之 KURODA Yoshiyuki	教授 Professor	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(M【PED only】 D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)	無機合成化学、エネルギー材料／Inorganic Synthetic Chemistry, Energy Materials	○	○
タカガキ アツシ 高垣 敦 TAKAGAKI Atsushi	教授 Professor	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(M【PED only】 D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)、 エネルギー材料Energy Materials(D)	触媒化学、不均一系触媒、無機材料化学／Catalyst Chemistry, Heterogenous Catalyst, Inorganic Material Chemistry	○	○
タカハシ コウジ 高橋 宏治 TAKAHASHI Koji	教授 Professor	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(MD)	材料強度学、材料工学／Strength of Materials, Materials Science and Engineering	○	○
タケダ ミノル 武田 稔 TAKEDA Minoru	教授 Professor	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(MD)	応用生物化学、微生物学／Microorganisms, Enzymes, Glycoconjugates	○	○
ニッタミ タダシ 新田見 匡 NITTAMI Tadashi	教授 Professor	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(MD)	生物化学工学、環境工学、微生物学／Biochemical Engineering, Environmental Engineering, Microbiology	○	○
フクダ ジュンジ 福田 淳二 FUKUDA Junji	教授 Professor	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(MD)	再生医療、ティッシュエンジニアリング／Tissue Engineering and Regenerative Medicine	○	○
ミツシマ シゲノリ 光島 重徳 MITSUSHIMA Shigenori	教授 Professor	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(M【PED only】 D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)、 エネルギー材料Energy Materials(D)	エネルギー変換化学（燃料電池、工業電解材料）／Applied Electrochemistry	○	○
ヨシタケ ヒデアキ 吉武 英昭 YOSHITAKE Hideaki	教授 Professor	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(M【PED only】 D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)	環境物理化学・物質化学／Environmental Physical Chemistry, Materials Chemistry	○	○
イイジマ カズトシ 飯島 一智 IIJIMA Kazutoshi	准教授 Associate Prof.	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(MD)	生体関連化学、医工学、生体材料、再生医療／ Biofunctional Chemistry, Biomedical Engineering, Biomaterials, Regenerative Medicine	○	○
スズキ アツシ 鈴木 敦 SUZUKI Atsushi	准教授 Associate Prof.	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(MD)	発生生物学、生化学、マウス遺伝学／Developmental Biology, Biochemistry, Mouse Genetics	○	○
ナカムラ カズホ 中村 一穂 NAKAMURA Kazuho	准教授 Associate Prof.	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(MD)	膜分離、分離工学、環境化学工学／Membrane separation, Separation engineering, Environmental chemical engineering	○	○
マツザワ コウイチ 松澤 幸一 MATSUZAWA Koichi	准教授 Associate Prof.	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(M【PED only】 D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)	応用電気化学、エネルギー変換材料／Applied Electrochemistry, Material of Energy Conversion	○	○
ミスミ リュウタ 三角 隆太 MISUMI Ryuta	准教授 Associate Prof.	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(MD)	ミキシング、晶析、移動現象、数値流動解析／Fluid Mixing and Agitation, Crystallization, Computational Fluid Dynamics, Transport Phenomena	○	○
ムロマチ サネヒロ 室町 実大 MUROMACHI Sanehiro	准教授 Associate Prof.	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(M【PED only】 D)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)、 エネルギー材料Energy Materials(D)	ガスハイドレート、エネルギープロセス、結晶工学／Gas hydrate, Energy process, Crystal engineering	○	○

化学応用・バイオユニット／Chemistry Applications and Life Science Unit (2/2)

氏名／Name	職名／Title	担当教育分野／Specialization (M：博士課程前期／Master's program) (D：博士課程後期／Doctoral program)	専門分野／Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士／D	修士／M
アイハラ マサヒコ 相原 雅彦 AIHARA Masahiko	講師 Lecturer	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(MD)	化学エネルギー工学、化学反応工学、膜分離、グリーン水素／Chemical Energy Engineering, Chemical Reaction Engineering, Membrane Separation, Green Hydrogen	○	○
スガワラ ユウキ 菅原 勇貴 SUGAWARA Yuuki	助教 Assistant Prof.	化学応用・バイオChemistry Applications and Life Science(M【PED only】)、 エネルギー化学Energy and Sustainable Chemistry(M)	エネルギー材料、水電解、化学工学、インフォマティクス／Energy Materials, Water Electrolysis, Chemical Engineering, Informatics	-	○

数理科学ユニット／Mathematical Sciences Unit

氏名／Name	職名／Title	担当教育分野／Specialization (M：博士課程前期／Master's program) (D：博士課程後期／Doctoral program)	専門分野／Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士／D	修士／M
ウエキ セイイチロウ 植木 誠一郎 UEKI Seiichiro	教授 Professor	数学Mathematical Sciences(MD)	解析関数空間と作用素／Analytic function spaces and operators	○	○
カジワラ タケン 梶原 健 KAJIWARA Takeshi	教授 Professor	数学Mathematical Sciences(MD)	代数学／Algebraic and Arithmetic Geometry	○	○
クロキ マナブ 黒木 学 KUROKI Manabu	教授 Professor	数学Mathematical Sciences(MD)	統計的因果推論／Statistical Causal Inference	○	○
タケイ マサト 竹居 正登 TAKEI Masato	教授 Professor	数学Mathematical Sciences(MD)	格子確率モデル、確率過程／Spatial Stochastic Models, Stochastic Process	○	○
タナカ トモユキ 田中 智之 TANAKA Tomoyuki	准教授 Associate Prof.	数学Mathematical Sciences (M)	偏微分方程式論、分散型方程式、初期値問題の適切性／Partial differential equation, Dispersive equation, Local well-posedness	-	○
ホンダ アツフミ 本田 淳史 HONDA Atsufumi	准教授 Associate Prof.	数学Mathematical Sciences(MD)	微分幾何学、部分多様体論、特異点論／Differential Geometry, Submanifold Theory, Singularity Theory	○	○

物理工学ユニット／Physics Unit (1/2)

氏名／Name	職名／Title	担当教育分野／Specialization (M：博士課程前期／Master's program) (D：博士課程後期／Doctoral program)	専門分野／Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士／D	修士／M
アカマツ ダイスケ 赤松 大輔 AKAMATSU Daisuke	教授 Professor	物理工学Physics(MD)	量子エレクトロニクス、量子計測、量子光学、原子物理／ Quantum Electronics, Quantum Metrology, Quantum Optics, Atomic Physics	○	○
カタヤマ イクフミ 片山 郁文 KATAYAMA Ikufumi	教授 Professor	物理工学Physics(MD)、 半導体物理学Semiconductor Physics (MD)	テラヘルツ及び超高速分光／Terahertz and Ultrafast Spectroscopy	○	○
カタヨセ ユウサク 片寄 祐作 KATAYOSE Yusaku	教授 Professor	物理工学Physics(MD)	宇宙線物理学／Cosmic Ray Physics	○	○
コウ ホウライ 洪 鋒雷 HONG Feng-Lei	教授 Professor	物理工学Physics(MD)、 半導体物理学Semiconductor Physics (MD)	超精密分光・量子計測／Precision Spectroscopy, Quantum Measurement	○	○
コサカ ヒデオ 小坂 英男 KOSAKA Hideo	教授 Professor	物理工学Physics(MD)、 半導体物理学Semiconductor Physics (MD)	量子コンピュータ、量子通信、量子情報物理／Quantum Computer, Quantum Communication, Quantum Information Physics	○	○
サトウ ジョウ 佐藤 丈 SATO Jo	教授 Professor	物理工学Physics(MD)	素粒子論／Elementary Particle Physics (Theory)	○	○
セキヤ タカオ 関谷 隆夫 SEKIYA Takao	教授 Professor	物理工学Physics(M)	固体物理、高圧物理／Solid State Physics, High Pressure Physics	-	○
ホリキリ トモユキ 堀切 智之 HORIKIRI Tomoyuki	教授 Professor	物理工学Physics(MD)、 半導体物理学Semiconductor Physics (MD)	量子情報、量子光学／Quantum Information, Quantum Optics	○	○
ミナミノ アキヒロ 南野 彰宏 MINAMINO Akihiro	教授 Professor	物理工学Physics(MD)	ニュートリノ物理学、素粒子物理学／Neutrino Physics, Particle Physics	○	○
レービガー ハンネス Raebiger Hannes	教授 Professor	物理工学Physics(MD)	物理学、量子化学、材料学／Physics, Quantum chemistry, Material Science	○	○
ウエハラ マサトモ 上原 政智 UEHARA Masatomo	准教授 Associate Prof.	物理工学Physics(MD)	固体物理、物質科学／Solid State Physics, Materials Science	○	○
オオノ シンヤ 大野 真也 OHNO Shinya	准教授 Associate Prof.	物理工学Physics(MD)	表面物理学／Surface Physics	○	○
オザワ アキラ 小澤 陽 OZAWA Akira	准教授 Associate Prof.	物理工学Physics (MD)、 半導体物理学Semiconductor Physics (MD)	量子光学、精密分光、レーザー物理／Quantum Optics, Precision spectroscopy, Laser physics	○	○
カワムラ ミツアキ 河村 光晶 KAWAMURA Mitsuaki	准教授 Associate Prof.	物理工学Physics (M)	物性理論、計算物質科学／Theoretical Solid State Physics, Computational Materials Science	-	○
シマヅ ヨシヒロ 島津 佳弘 SHIMAZU Yoshihiro	准教授 Associate Prof.	物理工学Physics(MD)、 半導体物理学Semiconductor Physics (MD)	低温物性実験／Experimental Solid State Physics	○	○
シュドウ ケンイチ 首藤 健一 SHUDO Ken-ichi	准教授 Associate Prof.	物理工学Physics(MD)	表面物理学／Surface Physics	○	○

物理工学ユニット／Physics Unit (2/2)

氏名／Name	職名／Title	担当教育分野／Specialization (M：博士課程前期／Master's program) (D：博士課程後期／Doctoral program)	専門分野／Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士／D	修士／M
シラサキ リョウエン 白崎 良演 SHIRASAKI Ryoen	准教授 Associate Prof.	物理工学Physics(MD)	物性理論 (凝縮系物理学)、複雑系科学／Condensed Matter Physics, Complex Systems	○	○
タハラ ヒロカズ 田原 弘量 TAHARA Hirokazu	准教授 Associate Prof.	物理工学Physics (M)、 半導体物理学Semiconductor Physics (M)	量子光物理学、先端レーザー分光、半導体光電物性／ Quantum Photophysics, Ultrafast Laser Spectroscopy, Semiconductor Optoelectronics	-	○
バンバ モトアキ 馬場 基彰 BAMBA Motoaki	准教授 Associate Prof.	物理工学Physics(M)、 半導体物理学Semiconductor Physics (M)	量子物理学理論／Quantum theory of light-matter interaction	-	○
ヒロシマ ナギサ 廣島 渚 HIROSHIMA Nagisa	准教授 Associate Prof.	物理工学Physics (M)	宇宙論、宇宙物理学、素粒子物理学、暗黒物質／ Cosmology, Astrophysics, Astroparticle physics, Particle physics, Dark matter	-	○
アサカワ カンタ 浅川 寛太 ASAKAWA Kanta	助教 Assistant Prof.	物理工学Physics (M)	原子物理、表面物理学、量子エレクトロニクス／Atomic physics, Surface Physics, Quantum Electronics	-	○
セキグチ ユウヘイ 関口 雄平 SEKIGUCHI Yuhei	助教 Assistant Prof.	物理工学Physics (M)、 半導体物理学Semiconductor Physics (M)	量子情報物理、量子通信、量子エレクトロニクス／ Quantum Information Physics, Quantum Communication, Quantum Electronics	-	○
ブロナー クリストフ Bronner Christophe	助教 Assistant Prof.	物理工学Physics (M)	ニュートリノ物理学、素粒子物理学／Neutrino Physics, Particle Physics	-	○

電子情報システムユニット／Electrical and Computer Engineering Unit (1/2)

氏名／Name	職名／Title	担当教育分野／Specialization (M：博士課程前期／Master's program) (D：博士課程後期／Doctoral program)	専門分野／Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士／D	修士／M
アカツ カン 赤津 観 AKATSU Kan	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	パワーエレクトロニクス、電力変換工学、制御工学／ Electric Machine design, analysis, control by using Power Electronics Technique	○	○
アラカワ タロウ 荒川 太郎 ARAKAWA Taro	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	光エレクトロニクス、半導体光デバイス、量子ナノ構造、 光学式センサー／Optoelectronics, Semiconductor Photonic Devices, Quantum Nano Structures, Optical Bio/Gas Sensors	○	○
イチゲ コウイチ 市毛 弘一 ICHIGE Koichi	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	デジタル信号処理、近似理論、移動体通信、画像処理／ Digital Signal Processing, Image Processing, Wireless Communication	○	○
オオツカ カズヒロ 大塚 和弘 OTSUKA Kazuhiro	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	マルチモーダル情報処理、社会的信号処理、コミュニケーション科学／Multimodal Informatics, Social Signal Processing, Communication Data Science	○	○
オオヤ タカヒデ 大矢 剛嗣 OYA Takahide	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	電子デバイス・電子機器、電子・電気材料工学／ Nanotechnology, Carbon Nanotube, Nonlinear system	○	○
クガ ノブヒロ 久我 宣裕 KUGA Nobuhiro	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	マイクロ波工学、電磁波測定、アンテナ工学／Microwave Engineering and measurement, Antenna Engineering	○	○
シモノ トモユキ 下野 誠通 SHIMONO Tomoyuki	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	モーションコントロール、ハプティクス、メカトロニクス、 ロボット工学、電気機器工学／Motion control, Haptics, Mechatronics, Robotics, Electrical Machinery	○	○
セキグチ コウジ 関口 康爾 SEKIGUCHI Koji	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	スピントロニクス、マグノニクス、エネルギーハーベスティング／ Spintronics, Magnonics, Energy harvesting	○	○
タケムラ ヤスシ 竹村 泰司 TAKEMURA Yasushi	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	バイオ医療マグネティクス、磁気工学／Magnetics for Biomedical Applications, Magnetic Sensors	○	○
ツジ タカオ 辻 隆男 TSUJI Takao	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	電力システム工学、スマートグリッド、再生可能エネルギー／ Power system engineering, Smartgrid, Renewable energy source	○	○
ニシグチ カツヒコ 西口 克彦 NISHIGUCHI Katsuhiko	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	半導体工学、電子デバイス、電子物性、統計力学／ Semiconductor engineering, Electronic devices, Solid-state physics, Statistical mechanics	○	○
ババ トシヒコ 馬場 俊彦 BABA Toshihiko	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	光エレクトロニクス、ナノフォトニクス、集積フォトニクス、 IoTセンサー／Optoelectronics, Nano-photonics, Silicon photonics, IoT sensor	○	○
ハマガミ トモキ 濱上 知樹 HAMAGAMI Tomoki	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(M)	知能情報学、ソフトコンピューティング、システム工学／ Intelligent Systems, Machine Learning	○	○
フクナガ カオリ 福永 香 FUKUNAGA Kaori	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	電磁波センシング、非破壊検査、文化財科学／ Electromagnetic Sensing, Nondestructive Inspection, Heritage Science	○	○
フジモト ヤスタカ 藤本 康孝 FUJIMOTO Yasutaka	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	システム工学、ロボット工学、制御工学、電気機器工学／ Manufacturing Automation, Discrete Event Systems, Motion Control, Robotics, Electrical Machinery	○	○
ヤマナシ ユウキ 山梨 裕希 YAMANASHI Yuki	教授 Professor	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	電子デバイス・電子機器、電子・電気材料工学／ Electron/electric material engineering, Electronic device/electronic equipment	○	○

電子情報システムユニット／Electrical and Computer Engineering Unit (2/2)

氏名／Name	職名／Title	担当教育分野／Specialization (M：博士課程前期／Master's program) (D：博士課程後期／Doctoral program)	専門分野／Research Field	受入大学院生 Type of Students Accepted	
				博士／D	修士／M
イシカワ ナオキ 石川 直樹 ISHIKAWA Naoki	准教授 Associate Prof.	情報システムInformation Systems(M)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(M)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics (M)	移動体通信、無線信号処理、時空間符号化／Mobile Network, Wireless Signal Processing, Space-Time Coding	-	○
オバラ ヒデミネ 小原 秀嶺 OBARA Hidemine	准教授 Associate Prof.	情報システムInformation Systems(M)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(M)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics (M)	パワーエレクトロニクス、半導体電力変換、電力ネット ワーク／Power Electronics, Semiconductor Power Conversion, Electric Power Network	-	○
カ ムナン 柯 夢南 KE Mengnan	准教授 Associate Prof.	情報システムInformation Systems(M)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(M)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics (M)	新材料半導体デバイス、FET、CMOS／Semiconductor with new material, FET, CMOS	-	○
スギモト テカ 杉本 千佳 SUGIMOTO Chika	准教授 Associate Prof.	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	知覚情報処理、生体システム工学、ヒューマンセンシ ング、医療 I C T／Perceptual Information Processing, Human Sensing, Medical I C T	○	○
ナカタ マサヤ 中田 雅也 NAKATA Masaya	准教授 Associate Prof.	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	ソフトコンピューティング、最適化、データマイニング／ Soft computing, Optimization, Data mining	○	○
ニシジマ ヨシアキ 西島 喜明 NISHIJIMA Yoshiaki	准教授 Associate Prof.	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	プラズモニクス、光エレクトロニクス、ナノ光センサー、 光熱エネルギー変換／Plasmonics, micro/nanophotonics, Nano Photonics Sensors, Photo-Thermal Energy Conversions	○	○
ミズノ ヨウスケ 水野 洋輔 MIZUNO Yosuke	准教授 Associate Prof.	情報システムInformation Systems(MD)、 電気電子ネットワークElectrical and Computer Engineering(MD)、 集積エレクトロニクスIntegrated Electronics(MD)	センシングフォトリクス、光ファイバ工学、非線形光学、 光エレクトロニクス／Sensing Photonics, Fiber Optics, Nonlinear Optics, Opto-Electronics	○	○

※は記入不要

受験番号※

年 月 日

申請書類送付内訳書（出願資格認定審査）

横浜国立大学大学院理工学府 博士課程前期
 （一般選抜・特別選抜）出願資格（5）の2，（8），（9），（10）
 （社会人特別選抜）
 （国費外国人留学生特別選抜）出願資格（4）の2，（5）

氏名 _____

志望ユニット _____

志望教育分野 _____

志望教育プログラム _____

本内訳書は、申請時の提出書類に添付して下さい。同封した書類等については、下記のチェック欄に○を付けてください。

(チェック欄)

申請書類	書式	注意事項	一般選抜・特別選抜		社会人特別選抜	国費外国人留学生特別選抜(4)の2, (5)
			出願資格(8)	出願資格(5)の(2), (9), (10)		
出願資格認定申請書	9	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。				
出願資格認定申請書	11	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。				
出願資格認定申請書	12	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。				
出願資格認定用経歴調書	13	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。				
出願資格証明及び推薦書	14	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。 本学理工学部在学者の場合は、「大学(学部)長名」の記入捺印は不要。※推薦者が厳封すること。				
卒業(見込)証明書または在学期間(見込)証明書	-	出身大学(在籍大学)長又は学部長が作成したもの。				
出身大学(在籍大学)の成績証明書	-	出身大学(在籍大学)長又は学部長が作成したもの。				
履修基準を示す書類	-	卒業までに履修すべき区分別単位数及び総単位、区分ごとに開講されている科目一覧等				
長形3号の返信用封筒	-	任意の封筒を使用。住所・氏名を記入し、410円切手を貼付。宛先は日本国内のみ。				
研究業績調書	16	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。				
研究(希望)計画書	17	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して使用。				
受験許可書及び人物推薦書	-	任意の書式を使用。勤務先の所属長等が作成したもの。 【出願時に職務を有する者のみ提出】				
研究又は業務に従事した証明書	-	任意の書式を使用。 【職務経験者のみ提出】				

出願書類内訳書

横浜国立大学大学院理工学府 博士課程前期

本内訳書は、出願書類の確認に用いてください。

出願資格認定審査を終えた者は、出願資格認定審査申請時に提出した書類の再提出を免除します。

出願書類	書式	注意事項	一般 選抜	特別 選抜	社会人 特別 選抜	国費外 国人留 学生特 別選抜
入学願書	1-1	WEB出願システムにて必要事項を入力してください。				
写真 1枚	-	WEB出願システムにアップロードしてください。				
卒業（見込）証明書	-	出身大学（在籍大学）長又は学部長が作成したものをWEB出願システムにアップロードしてください。				
学位取得証明書 【外国人留学生のみ】	-	取得学位が記載されたものをWEB出願システムにアップロードしてください。卒業証書等の写しをもって代える場合は、理工学府係窓口にてあらかじめ原本確認が必要です。出願資格（1）の者は提出不要です。				
成績証明書	-	出身大学（在籍大学）長又は学部長が作成したものをWEB出願システムにアップロードしてください。				
在留資格に関する証明 【外国人留学生のみ】	-	日本在住の外国人は在留カードの写し（両面）、その他の外国人はパスポートの写しをWEB出願システムにアップロードしてください。				
外国人留学生履歴書 【外国人留学生のみ】	19-1	WEB出願システムにて必要事項を入力して下さい。出願資格（1）の者は提出不要です。				
受入内諾書 【外国人留学生のみ】	19-2	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし作成してください。作成後、 スキャン してWEB出願システムにアップロードしてください。 志望指導教員の署名が必要です。				
これまでの研究内容 および研究計画書 【先端科学ユニット志願者のみ】	21	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし作成してください。作成後WEB出願システムにアップロードしてください。				
国費外国人留学生証明書	-	スキャンしてWEB出願システムにアップロードしてください。				
出願資格証明及び推薦書	15	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし印刷して作成してください。作成後、スキャンしてWEB出願システムにアップロードしてください。本学工学部、理工学部卒業（見込）者の場合は、「大学（学部）長名」の記入捺印は不要。				
志望理由書	18	理工学府ウェブサイトよりダウンロードし作成してください。作成後、WEB出願システムにアップロードしてください。				
入学確約	-	WEB出願システムにて誓約してください。				
願書提出前に志望指導教員あるいは問い合わせ担当教員と相談すること			相談済み（○をつける）			

横浜国立大学大学院理工学府

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79 番 5 号

TEL 045-339-**3817** FAX 045-339-3820

E-mail ses.daigakuin-eng@ynu.ac.jp

<https://www.fse.ynu.ac.jp/index.html>

理工学系事務部教務課 理工学府係

[窓口取扱時間] 8:30~12:45, 13:45~17:00

土日・祝日、夏季休業期間（8月12日~8月18日）を除く。